SHARP

マルチメディアプロジェクター

形名 XG-PH70X（標準ズームレンズ付き）

（エックスジー ピー エイチ エックス）

形名 XG-PH70X-N（レンズなし）

（エックスジー ピー エイチ エックス エヌ）

取扱説明書

Conference Series

このたびはシャープマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・・8ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

まず

ご使用になる前に「安全に正しくお使いいただくために」（8〜12ページ）を必ずお読みください。

はじめに

ページ　ページ

基本的な使いかた

設置する

接続する

さあ

使ってみる

便利な機能

つづく

もくじ(つづき)

便利な機能

こんなときは

付録

XG-PH70X-N(レンズなし)/XG-PH70X(標準ズームレンズ付き)をご購入のお客様へ

別売レンズは7ページに紹介しております。用途に合わせてご購入いただきますようお願いいたします。

この取扱説明書の見かた

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

使用するボタンです

使用するボタンです

操作するボタンです

表示される画面です

メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。
（設定方法は60～61ページをご覧ください。）

ENTER（決定）ボタン
MENU（メニュー）ボタン
UNDO（戻す）ボタン
カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）

▲/▼/◀/▶ カーソルボタン
ENTER（決定）ボタン
MENU（メニュー）ボタン
UNDO（戻す）ボタン

メニュー画面で調整する

例：「明るさ」を調整するとき
• 本体のボタンを使って操作することもできます。

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

1 を押す
• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀または▶を押し、調整するメニュー項目を選ぶ

• メニュー項目は下記の項目があります。

メニュー項目
映像調整
C.M.S.
同期調整
音声調整
オプション
オプション
言語選択
一覧

メモ
• 入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

58

お知らせ
• 特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ
• 操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは

94ページ

故障かな？と思ったら

103、104ページ

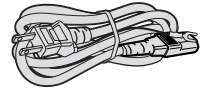
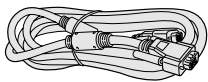
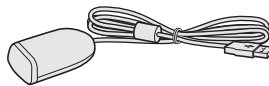
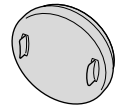
索引

109ページ

付属品について

付属品

リモコン

単3形乾電池（2本）

電源コード（1.8m）
（この電源コードは
XG-PH70X/XG-PH70X-N
専用品です）

RGBケーブル（3m）

リモートマウスレシーバー
（1.6m）

標準ズームレンズ用キャップ
（XG-PH70X装着出荷）

- CD-ROM
- 取扱説明書（本書）
- 保証書（箱に貼り付け）

別売品のご案内

ケーブル

3RCA（コンポーネント）/15ピンミニD-sub変換ケーブル（3m）　AN-C3CP2

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。

ランプ

ランプユニット1　AN-PH7LP1
ランプユニット2　AN-PH7LP2

別売レンズ のご案内

XG-PH70X-N（レンズなし）、XG-PH70Xの使用用途にあわせた6種類の別売レンズがあります。別売レンズのご購入や取り付けは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。（レンズ使用時には、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。）レンズの交換はサービスマンが行います。（XG-PH70Xに標準装備しているレンズは、AN-PH31EZ標準ズームレンズです。）

レンズ			100型画面投映時の距離
短焦点固定レンズ	（0.8倍）	AN-PH1EX	1.6m
短焦点ズームレンズ	（1.5〜1.8倍）	AN-PH2EZ	3.0〜3.7m
標準ズームレンズ	（1.8〜2.2倍）	AN-PH31EZ	3.7〜4.5m（XG-PH70X標準装備）
長焦点ズームレンズ	（2.25〜3.0倍）	AN-PH4EZ	4.6〜6.1m
長焦点ズームレンズ	（3.0〜4.5倍）	AN-PH5EZ	6.1〜9.1m
長焦点ズームレンズ	（4.5〜7.0倍）	AN-PH6EZ	9.1〜14.2m

• レンズについて詳しくは、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

投映距離（4:3標準モードで100型画面のとき）

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグを抜く

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

分解禁止

● この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

100V使用

● 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

電源プラグを抜く

● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

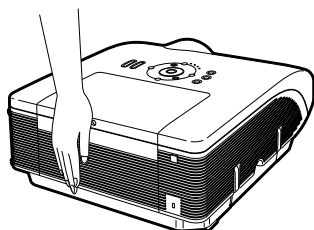
禁止

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

禁止

高温注意

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

不安定な場所に置かない

禁止

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

販売店に依頼する

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

禁止

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグを抜く

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

水ぬれ禁止

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

接触禁止

● 感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

ほこりを取る

- ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

禁止

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

禁止

禁止

- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

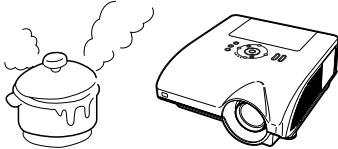
通風孔をふさがない

禁止

禁止

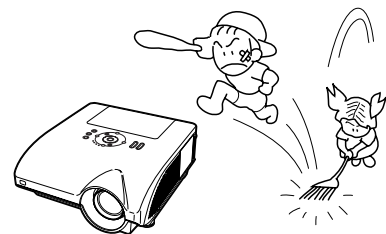
- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。
- 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

禁止

禁止

- この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

置台に据えつけるときは

転倒防止

- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠注意

設置場所を変える場合は必ず接続線をはずす

接続線をはずす

●設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

水ぬれ禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

注意

●内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

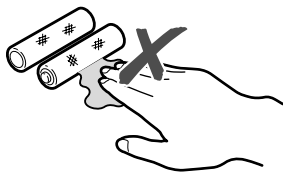
電池についての安全上のご注意

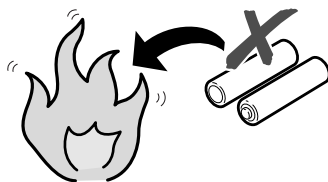
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

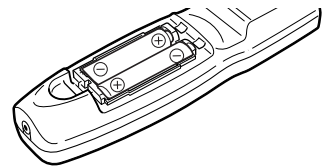
⚠注意

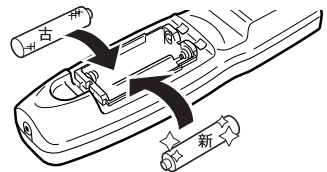
電池は幼児の手の届く所に置かない

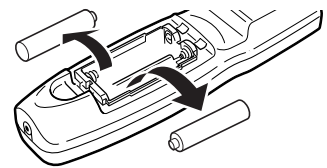
- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
乾電池は充電しない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない
新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

湿気、ホコリの少ないところへ

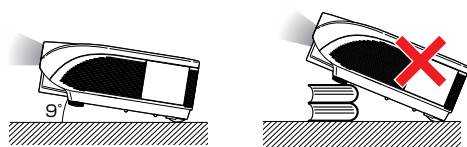
■ 湿気やホコリの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。また、故障の原因となる場合があります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■ スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

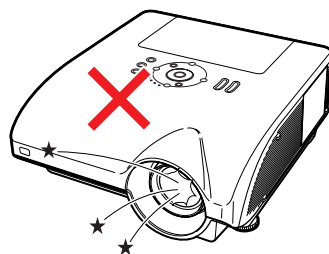
本機を設置するときは

■ プロジェクターは9°以上傾けないようにしてください。設置範囲は9°までです。

■ プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともないなくなります。

山岳など高地(標高約1500m)以上でご使用になるとき

■ 空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。「標準」のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください

■ レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。

高温、低温の場所はさけてください

■ 使用温度範囲　5℃～40℃

■ 保管温度範囲　－20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■ 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。

■ 排気孔や吸気孔をふさがないよう設置してください。

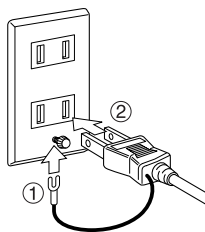
■ 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

つづく

使用上のご注意（つづき）

電源コードの接続について

■ 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

■ アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

取り扱い時のご注意

■ 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、長時間使用しない、または収納する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。

■ 取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。

■ 収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。（**15**ページ）

■ 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

接続機器について

■ プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

■ 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■ 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■ 「ランプについて」（**97**ページ）もご覧ください。

■ 廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプユニットに関しての注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でケガをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード（別売品）をご使用ください。

別売レンズを取り付けるときは

■ 別売レンズの取り付けは、販売店にご依頼ください。

• この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。
その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

各部のなまえとはたらき

の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

電源表示 16

ON(電源入)ボタン 39
電源を入れます。

STANDBY(スタンバイ)ボタン 39
電源を待機状態にします。

ZOOM(ズーム)ボタン 42
投映画像の拡大／縮小（ズーム）をするときに押します。

FOCUS(フォーカス)ボタン 42
投映画像のピント（フォーカス）合わせをするときに押します。

H&V LENS SHIFT(縦横レンズシフト)ボタン 41
レンズを上下左右にシフトします。

カーソルボタン(▲/▼/◀/▶) 58
メニュー設定や、その他の設定に使用します。

ENTER(決定)ボタン 58
メニューで選択調整した項目を決定します。

KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン 43
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

16·95 ランプ表示1

16·95 ランプ表示2

16·95 温度モニター表示

48 VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

47 INPUT(入力切換)1、2、3ボタン
入力モード(入力1、2、3)を切り換えます。

47 INPUT(入力切換)4、5ボタン
入力モード(入力4、5)を切り換えます。

70 AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

58 MENU(メニュー)ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

58 UNDO(戻す)ボタン
1つ前の操作状態や前画面に戻します。

ON
POWER
LAMP 1
LAMP 2
TEMP
STANDBY
ZOOM
FOCUS
H&V LENS SHIFT
ENTER
VOL
MENU
INPUT 1,2,3
INPUT 4,5
AUTO SYNC
UNDO
KEYSTONE

前面／側面

キャリングハンドル
プロジェクターを持ち運ぶときに使用します。

スピーカー 73

リモコン受信部 19

アジャスター 41
（プロジェクターの底部）

吸気孔 94

98 ランプユニットカバー

94 吸気孔

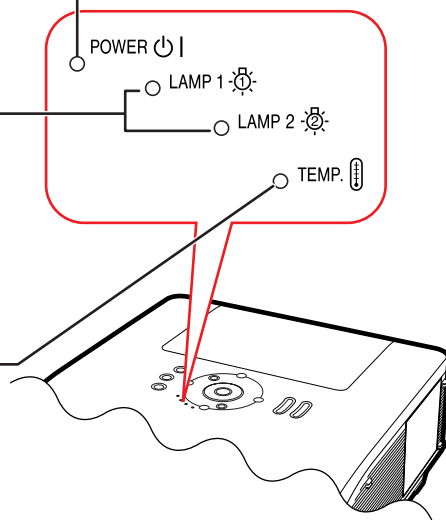
73 スピーカー

41 アジャスター
（プロジェクターの底部）

レンズキャップの取り付け
レンズキャップをカチッと音がするところまで、はめ込みます。
レンズキャップの取り外し
レンズキャップをまっすぐ引き抜きます。

つづく

各部のなまえとはたらき（つづき）

本体のランプ表示について

の中の数字は参照ページを示します。

本体側面

側面端子 ………… 詳しくは26ページの「各入力端子とおもに接続する機器」をご覧ください。

INPUT（入力）1端子 29
RGB/色差（コンポーネント）入力端子

AUDIO（音声入力1）端子 29
INPUT（入力）1専用の音声入力用端子

INPUT（入力）2端子 30
BNC端子（3連、5連）を使って機器を接続するRGB/色差（コンポーネント）入力端子

RS-232C端子 37
コンピュータを使ってプロジェクターを制御します。

INPUT（入力）4端子 36
映像入力端子

AUDIO（音声入力4、5）端子 36
INPUT（入力）4と5で共有の音声入力用端子

INPUT（入力）5端子 36
S映像入力端子

WIRED REMOTE（ワイヤードリモコン）端子 20
リモコン信号が届かないときにリモコンと接続します。

INPUT（入力）3端子 31
DVIデジタルRGB/デジタル色差（コンポーネント）入力端子

OUTPUT（FOR INPUT1,2）（出力（入力1、2））端子 38
INPUT（入力）1と2で共有のRGB/色差（コンポーネント）出力用端子

AUDIO（音声入力2、3）端子 30
INPUT（入力）2と3で共有の音声入力用端子

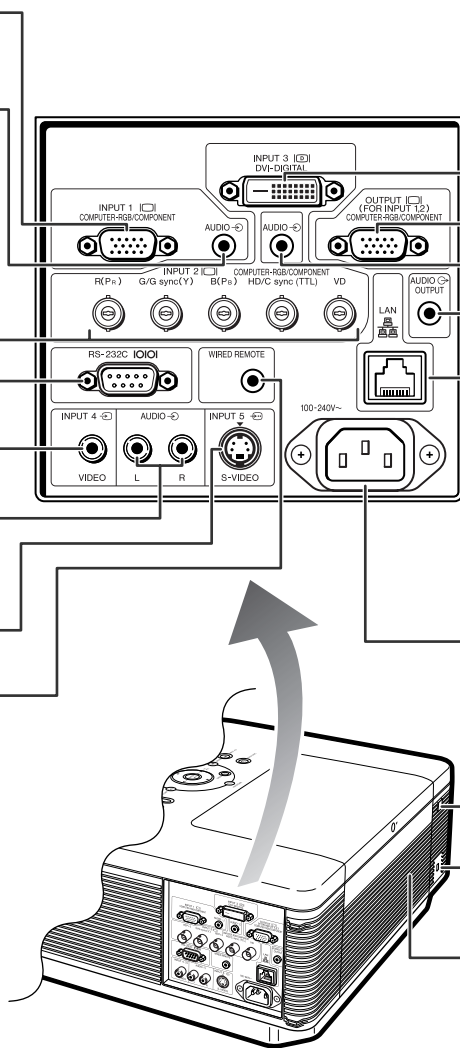
AUDIO OUTPUT（音声出力）端子 38
INPUT（入力）1〜5で共有の音声出力用端子

LAN端子 37
コンピュータを使ってネットワーク経由でプロジェクターを制御します。

AC電源ソケット 39
付属の電源コードを接続します。

リモコン受信部 19

ケンジントンセキュリティースロット

排気孔（冷却ファン） 94
（プロジェクターの後面）
冷却ファンはプロジェクター内部温度によりファン回転の速さを変え、内部温度を一定にします。そのため、冷却ファンの音が変化します。

ケンジントンセキュリティースロットについて
- このケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社製セキュリティーケーブルに対応しております。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ケンジントンセキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルは盗難を抑止するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

各部のなまえとはたらき（つづき）

の中の数字は参照ページを示します。

リモコン

FOCUS（フォーカス）ボタン 42
投映画像のピント（フォーカス）を合わせます。

STANDBY（スタンバイ）ボタン 39
電源を待機状態にします。

ZOOM（ズーム）ボタン 42
投映画像を拡大／縮小します。

KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン 43
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面を表示します。

マウス／カーソルボタン（▲/▼/◀/▶） 21·58
- ADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチがMOUSEのときに、マウスボタンとして働きます。
- ADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチがADJ.のときに、カーソルボタンとして働きます。

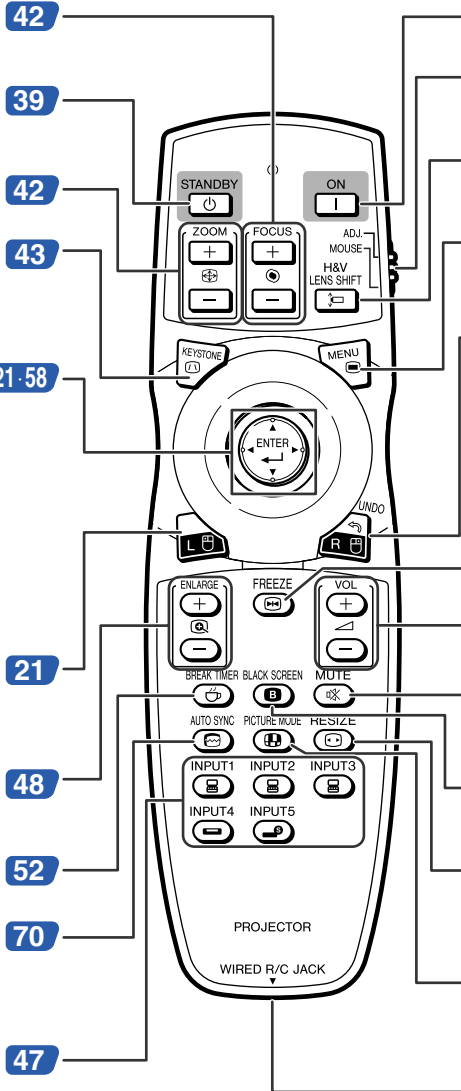
ENTER（決定）ボタン
メニューで選択・調整した項目を決定します。

L-CLICK（左クリック）ボタン 21
ADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチがMOUSEのときに、左クリックボタンとして働きます。

ENLARGE ＋／－(拡大／縮小)ボタン 48
投映画像を部分拡大／縮小します。

BREAK TIMER(休憩時間)ボタン 52
休憩時間を設定します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 70
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

INPUT（入力切換）1、2、3、4、5ボタン 47
入力モードを切り換えます。

ON(電源入)ボタン 39
電源を入れます。

ADJ./MOUSE(調整/マウス)切換スイッチ 20
リモコンのモードを切り換えます。

H&V LENS SHIFT(縦横レンズシフト)ボタン 41
レンズを上下左右にシフトします。

MENU(メニュー)ボタン 58
各種設定·調整用の画面を表示します。

R-CLICK／UNDO（右クリック／戻す）ボタン 21·58
- ADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチがMOUSEのときに、右クリックボタンとして働きます。
- ADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチがADJ.のときに、1つ前の操作状態や前画面に戻します。

FREEZE(静止画)ボタン 49
映像を静止画の状態にします。

VOLUME(音量)ボタン 48
スピーカーからの音量を調整します。

MUTE（ミュート）ボタン 48
プロジェクターの音声を一時的に消します。

BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）ボタン 52
投映画像を一時的に消します。

RESIZE(画面サイズ切換)ボタン 50
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

PICTURE MODE(映像モード)ボタン 49
映像に合わせて映像モードを切り換えます。

WIRED R/C JACK（ワイヤードリモコン端子） 20
リモコン信号が届かないときに、プロジェクターと接続します。

メモ
- マウス／カーソルボタンとADJ./MOUSE（調整／マウス）切換スイッチ以外のボタンは、暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。（蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに減衰します。）

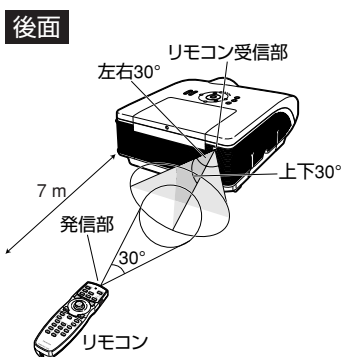
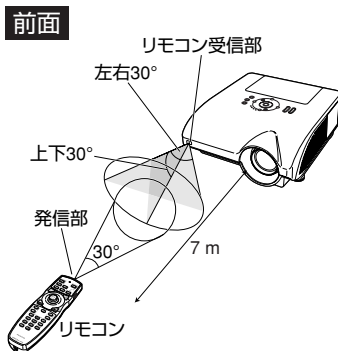
リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

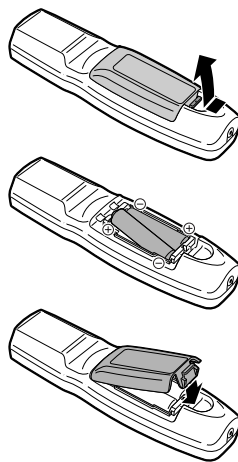
- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

乾電池の入れかた

乾電池〔単3形2本〕

1 **カバーのつめを押して、矢印の方向に開ける**

2 **付属の乾電池を入れる**

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。

3 **カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める**

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

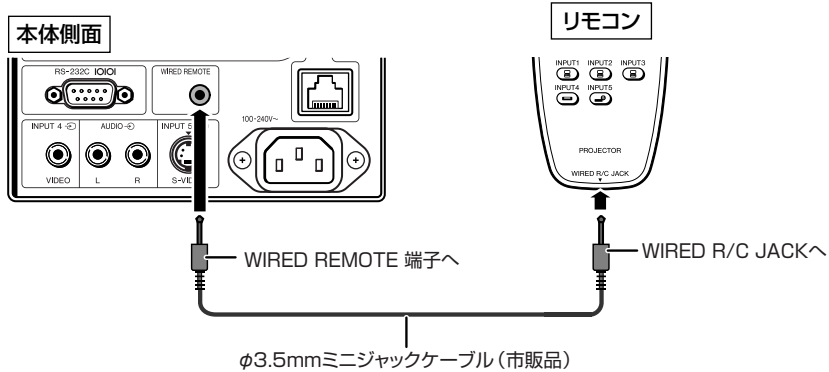
⚠注意

- 誤った電池交換を行うと、乾電池が破裂するなどの危険性があります。乾電池は、同じ種類のものをお使いください。
- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

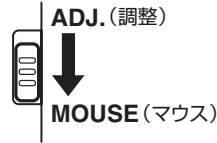
リモコンの使いかた（つづき）

ワイヤードリモコンの使いかた

プロジェクターの設置位置や設定方法により、リモコン信号が届かない場合は、市販のφ3.5mmミニジャックケーブルを使ってリモコンをプロジェクターに接続してください。ワイヤードリモコンとしてお使いになれます。

メモ

- φ3.5mmミニジャックケーブルがプロジェクターに接続されていると、ワイヤレス機能は働きません。ワイヤレスリモコンとして使用する場合は、プロジェクターからケーブルを抜いてください。

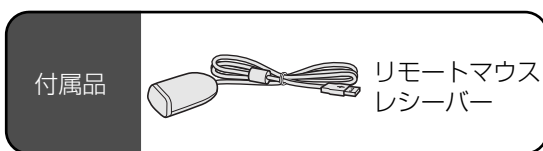
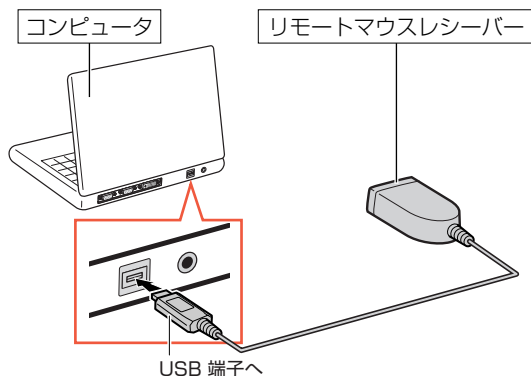
リモコンモードの切り換え

リモコンには、プロジェクター操作のための調整モードと、コンピュータのマウス操作のためのマウスモードがあります。モードの切り換えは、リモコン側面のADJ./MOUSE（調整/マウス）切換スイッチで行います。

お知らせ

- リモコンをワイヤレスマウスとして使用するときは、付属のリモートマウスレシーバーをコンピュータに接続してください。接続のしかたは21ページをご覧ください。

リモコンをワイヤレスマウスとして使用する

付属のリモートマウスレシーバーをコンピュータに接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで操作することができます。

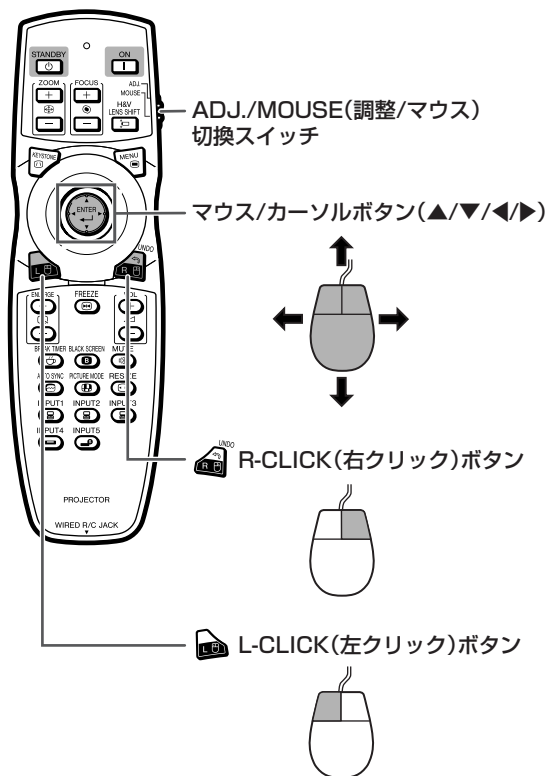
1 リモートマウスレシーバー(付属品)をコンピュータのUSB端子に接続する

2 リモコン側面のADJ./MOUSE(調整/マウス)切換スイッチをMOUSE(マウス)の位置にスライドする

3 マウス機能を使う

• リモコンをリモートマウスレシーバーに向けて操作します。

■ポインタを動かすとき
▲/▼/◀/▶を押します。

■左クリックするとき
[L] を押します。

■右クリックするとき
[R] を押します。

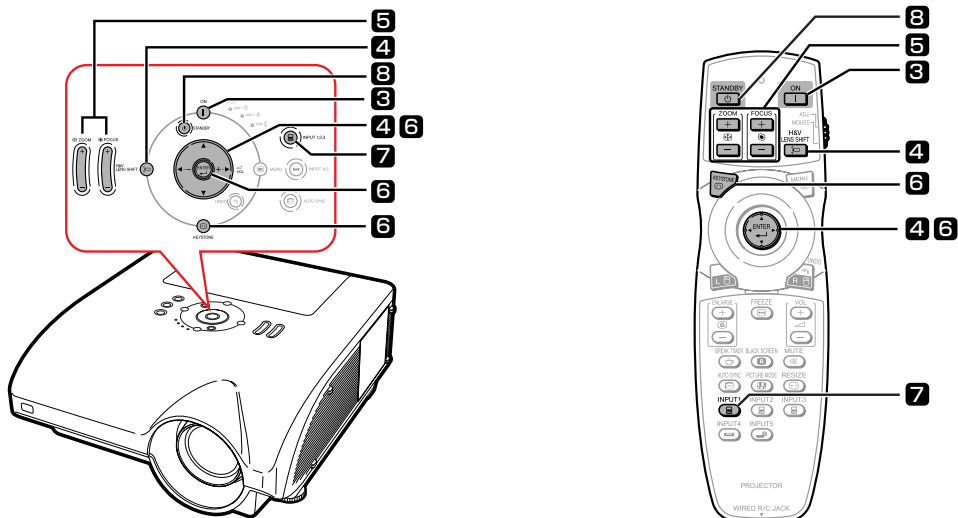
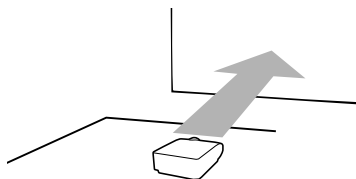
■クリックボタンがひとつのマウス(Macintoshなど)の場合
[L] または [R] を押します。([L]、[R] は同じ働きをします。)

メモ

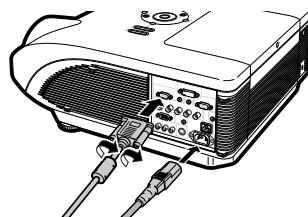
• この機能はMicrosoft® Windows® OSとMac® OSでのみ働きます。
• ただし、OSがWindows® 95以前、Windows® NT4.0以前または、Mac® OS 8.5以前の場合は、USBをサポートしていないため働きません。
• コンピュータ側でUSB接続が認識されたことを確認してください。
• ワイヤードリモコンとして使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は使用できません。

基本的な使いかた

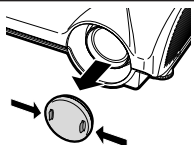
このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピュータを接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

➡24ページ

2. 電源コードおよびコンピュータを接続する

ほかの機器を接続する場合は、32～38ページをご覧ください。

➡29～31、39ページ

3. レンズキャップを外し、電源を入れる

本体の ON またはリモコンの ON を押す

➡39ページ

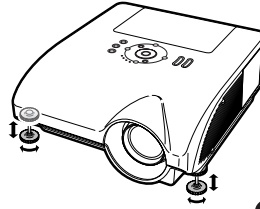
4. 投映角度を調整する

投映角度を調整する

- レンズを上下左右にシフトする

① 本体の H&V LENS SHIFT またはリモコンの H&V LENS SHIFT を押す

② 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して調整する

- アジャスターで調整する

➡40、41ページ

5. 投映された画像のフォーカス（ピント）とサイズを調整する

1. 本体の FOCUS またはリモコンの FOCUS を押してフォーカス（ピント）をあわせる

2. 本体の ZOOM またはリモコンの ZOOM を押して画面サイズをあわせる

➡42ページ

6. 台形歪みを補正する（4点補正）

1. 本体の KEYSTONE またはリモコンの KEYSTONE を押す
2. 本体の ENTER またはリモコンの ENTER を押す
3. 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の左上の位置を指定する
4. 本体の ENTER またはリモコンの ENTER を押して位置を確定する
5. 手順3、4を行い、投映画面の右上、右下、左下の位置も指定する
   - 左下の位置を確定すると、画面の補正が行われ終了します。

➡43ページ

7. 入力モードを選ぶ

本体の INPUT 1,2,3 またはリモコンの INPUT1 を押して「入力1」を選ぶ

▼画面表示(RGB信号入力時)

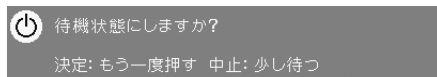
- 本体の INPUT 1,2,3 を押すと、入力1➡入力2➡入力3 の順番で切り換わります。本体の INPUT 4,5 を押すと、入力4と入力5が交互に切り換わります。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、INPUT1/INPUT2/INPUT3/INPUT4/INPUT5 を押して切り換えます。

➡47ページ

8. 電源を切るときは

本体の STANDBY またはリモコンの STANDBY を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、STANDBY か STANDBY を押す

▼画面表示

待機状態にしますか？
決定：もう一度押す　中止：少し待つ

- 本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。
- 本機から電源コードを抜いたあとも、冷却ファンはしばらく作動し続けます。

➡39ページ

本機を設置する

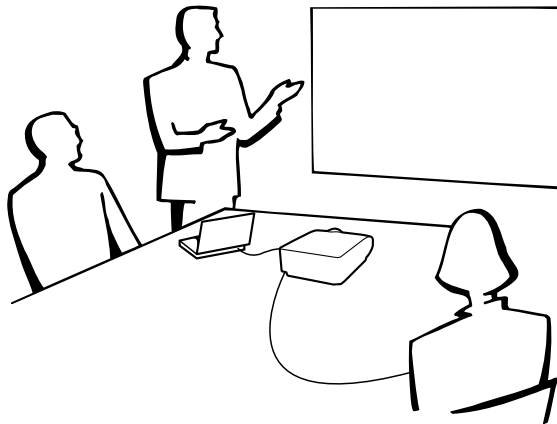
本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。キーストーン補正を行う必要がなく、最良の映像が得られます。

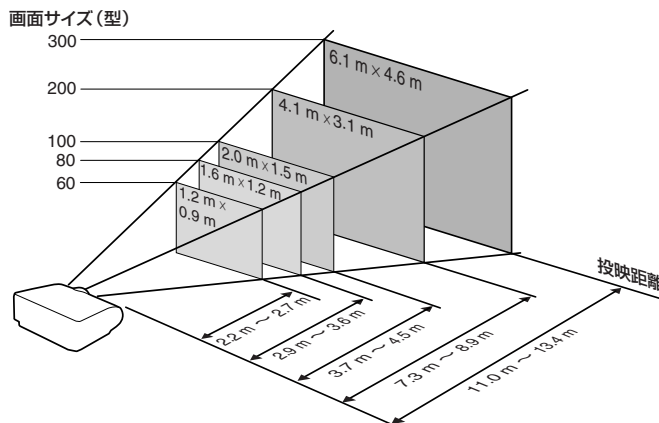
メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心（水平方向）にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

基本的な設置（前面からの投映）

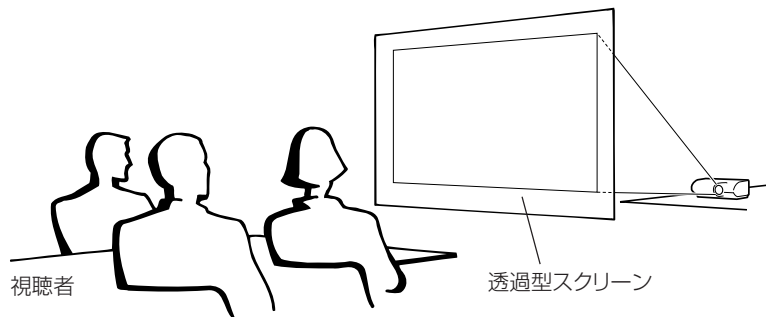
■投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。）

投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

例：　コンピュータ入力時の「標準」モード（ビデオ入力時は「ズーム」モード）で標準ズームレンズ（AN-PH31EZ）を使用した場合

反転映像を投映するとき

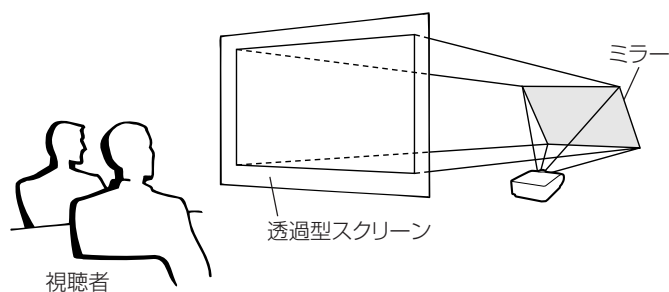
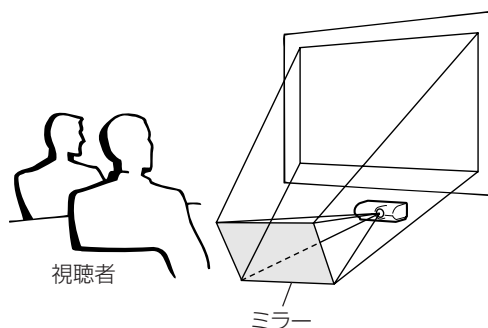
スクリーン背後からの投映

■ 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

■「オプション（2）」メニューの「投映方式」で「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。（**84**ページ）

ミラーを使った投映

■ レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。

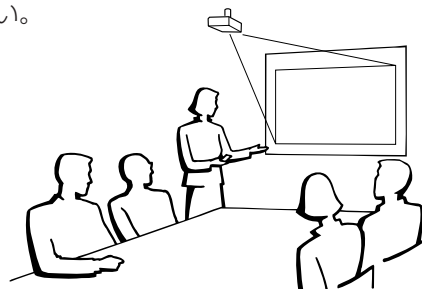
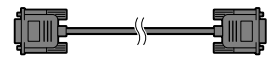
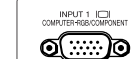
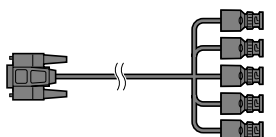
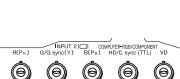
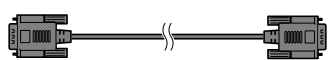
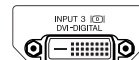
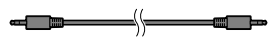
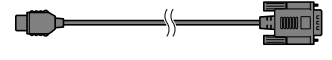
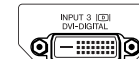
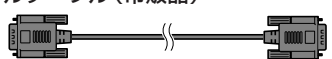
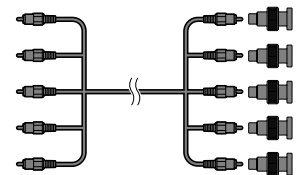
■ 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「オプション（2）」メニューの「投映方式」で「フロント」に設定してください。（**84**ページ）

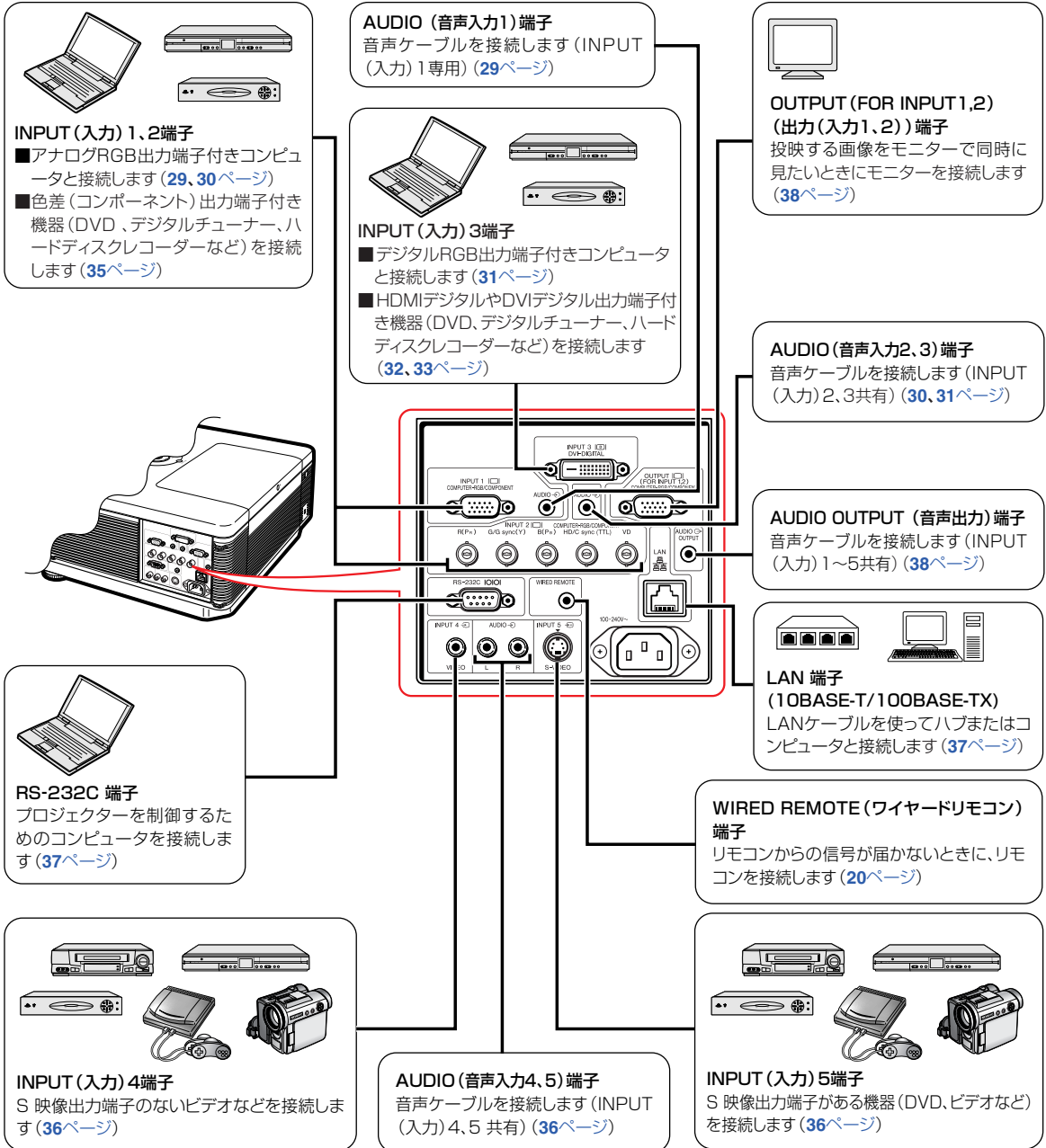
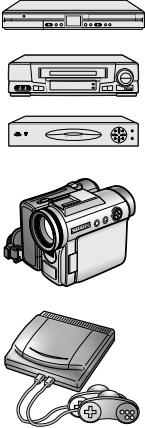
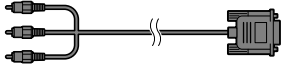
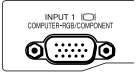
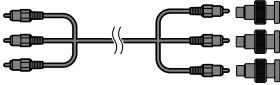
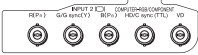
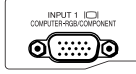
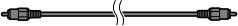
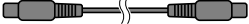
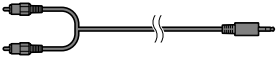
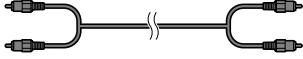
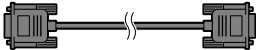
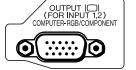
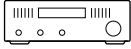
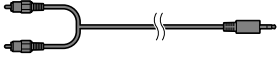
■ 視聴者側にミラーを置くときは、「オプション（2）」メニューの「投映方式」で「リア」に設定してください。（**84**ページ）

「フロント」に設定　　**「リア」に設定**

お知らせ

• ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

■ 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび天吊り用取り付けアダプター「AN-NV6T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
別売の天吊り用取り付けアダプター「AN-NV6T」の取り付けは、天吊り用取り付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。

■「オプション（2）」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。（**84**ページ）

接続する

各入力端子とおもに接続する機器

接続する機器と使用するケーブル例

• 使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ	RGB映像出力端子	RGBケーブル（付属品）	INPUT1
		5BNC/15ピンミニD-subケーブル（市販品）	INPUT2
	DVIデジタル映像出力端子	DVIデジタルケーブル（市販品）	INPUT3
	コンピュータ音声出力端子	コンピュータ音声ケーブル（φ3.5ステレオミニタイプ/市販品）	AUDIO（INPUT1用） AUDIO（INPUT2、3用）
AV機器	HDMIデジタル映像出力端子	DVI/HDMIデジタルケーブル（市販品） • 音声コードは28ページ※2に接続します。	INPUT3
	DVIデジタル映像出力端子	DVIデジタルケーブル（市販品） • 音声コードは28ページ※2に接続します。	
	RGB映像出力端子	5RCA/RGBケーブル（市販品） BNC/RCA変換プラグ（市販品） • 音声コードは28ページ※2に接続します	INPUT2

つづく

接続する機器と使用するケーブル例（つづき）

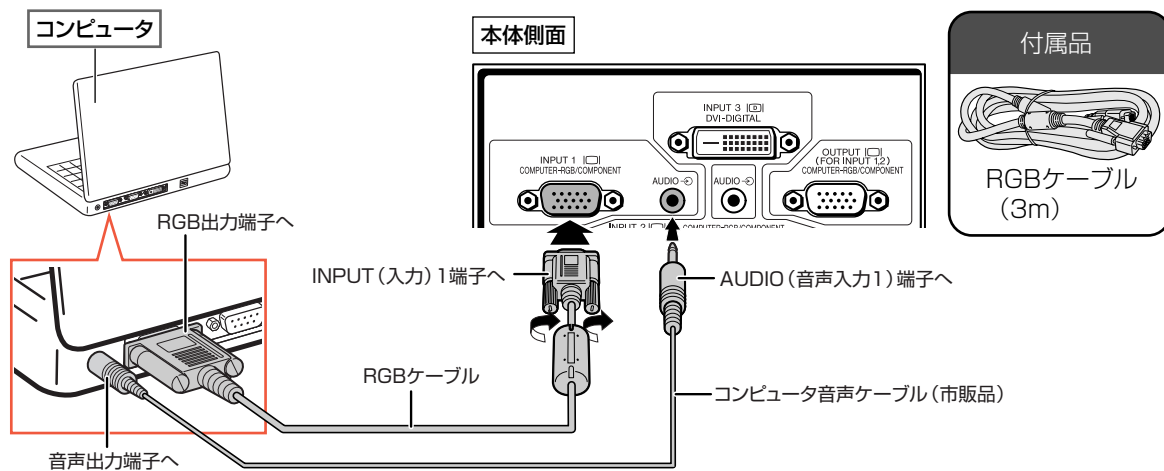
接続機器	接続機器側端子	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
AV機器	色差（コンポーネント）映像出力端子	3RCA（コンポーネント）/15ピンミニD-sub変換ケーブル（別売品:AN-C3CP2） • 音声コードは※1に接続します。	INPUT1
		BNC-RCA変換プラグ（市販品） 色差（コンポーネント）ケーブル（市販品） • 音声コードは※2に接続します。	INPUT2
	D映像出力端子	3RCA（コンポーネント）/15ピンミニD-sub変換ケーブル（別売品:AN-C3CP2） 中継プラグ（市販品） D色差（コンポーネント）変換ケーブル（市販品） • 音声コードは※1に接続します。	INPUT1
	映像出力端子	映像ケーブル（市販品） • 音声コードは※3に接続します。	INPUT4
	S映像出力端子	S映像ケーブル（市販品） • 音声コードは※3に接続します。	INPUT5
	音声出力端子	音声ケーブル（ピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ、市販品）	AUDIO（INPUT1用）※1 AUDIO（INPUT2、3用）※2
		音声ケーブル（市販品）	AUDIO（INPUT4、5用）※3
モニター	RGB映像入力端子	RGBケーブル（付属品または市販品）	OUTPUT
アンプ、オーディオ機器	音声入力端子	音声ケーブル（ピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ、市販品）	AUDIO OUTPUT

コンピュータを接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

メモ

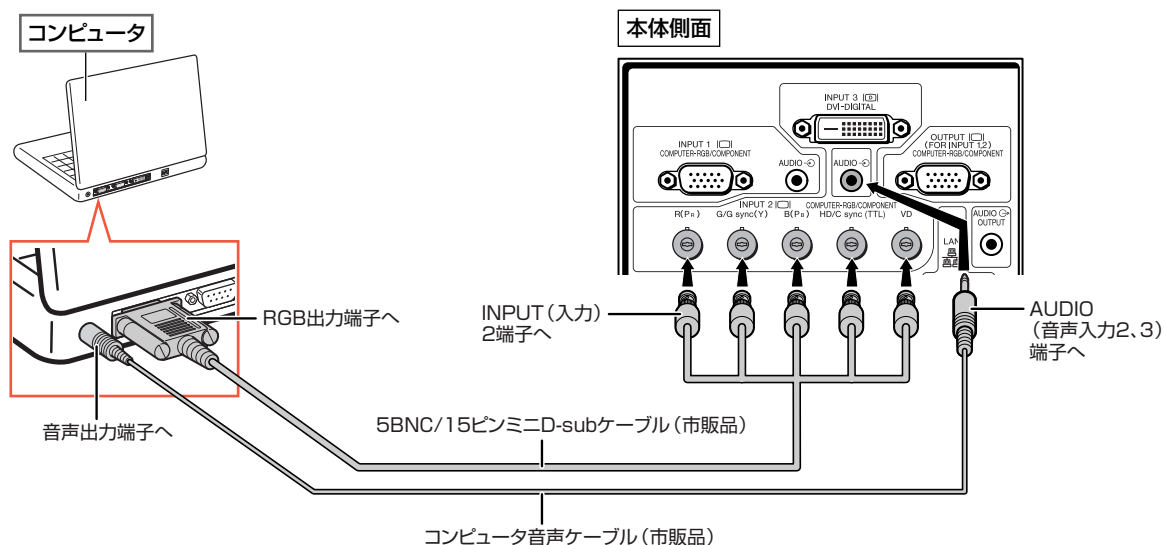
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、101ページ「RGB入力信号（推奨信号）一覧表」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。
- 推奨タイプ以外のコンピュータを接続すると、プロジェクターおよびコンピュータが損傷する恐れがあります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様相談センターへお問い合わせください。
- **お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、FnキーとF5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。**
  詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

RGBケーブルを使って接続する

メモ

- この接続でお使いの場合、シンクオングリーン信号には対応しておりません。
- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

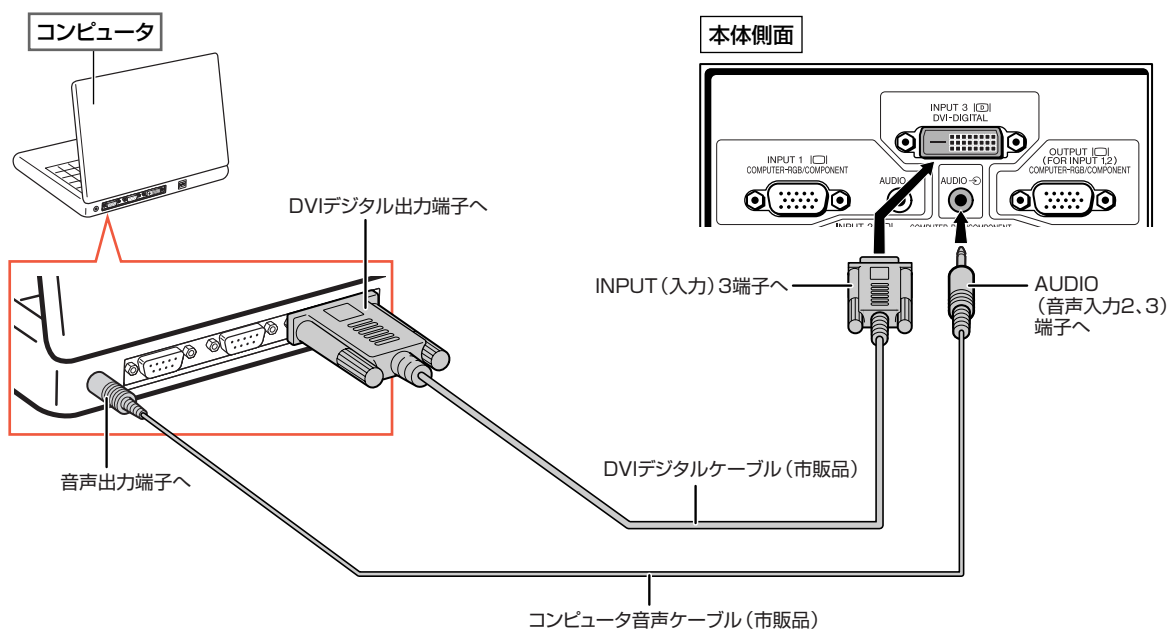
コンピュータを接続する(つづき)

5BNC/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する

本機は画質の低下を防ぐために、5BNC入力を採用しています。
プロジェクターの入力端子とコンピュータを直接接続する場合は、5BNC/15ピンミニD-subケーブル(市販品)を使って、R(PR)・G/G sync (Y)・B(PB)・HD/C sync・VDのケーブルをプロジェクターの入力端子に正しく接続してください。

メモ

- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。
- 本機をIBM-PC(VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA)または互換機(ワークステーション)に接続する場合は、別ケーブルが必要になる場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。
- HD/C sync端子はTTL信号専用の入力端子です。

DVIデジタルケーブルを使って接続する

本機はコンピュータのデジタル映像信号を直接入力できるDVIデジタル入力端子を標準装備しています。
（コンピュータのアナログRGB信号を入力しても映像は投映されません。）

メモ

- 本機とコンピュータをこの方法で接続したときは、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「D. PC RGB」に設定してください。
- コンピュータ音声ケーブルはφ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

ビデオ機器を接続する

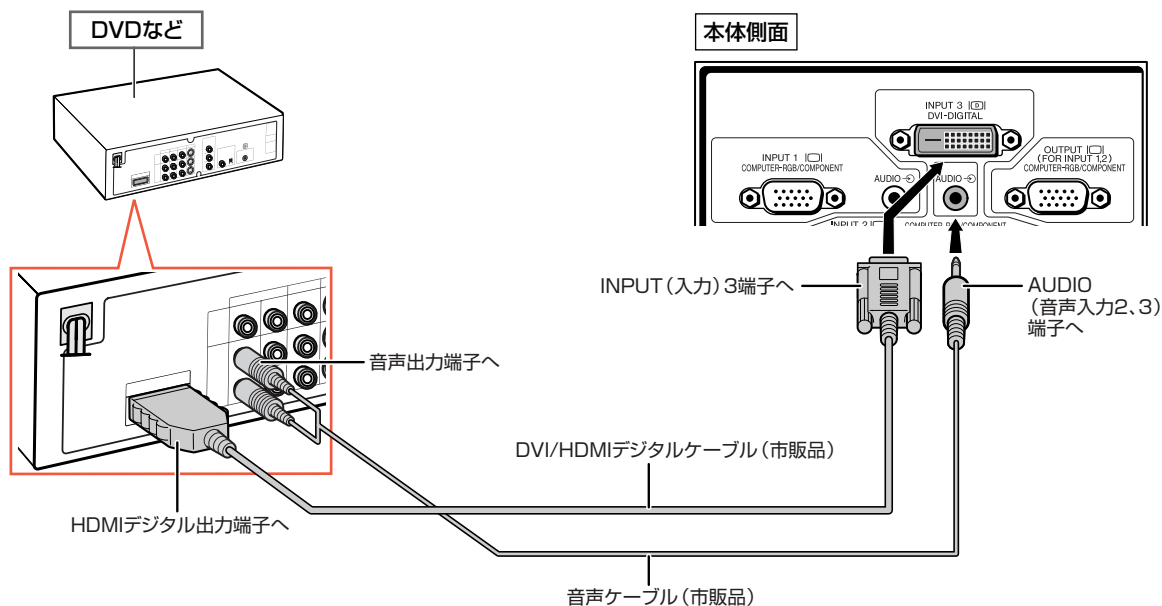
接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わった後で、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

本機はDVIデジタル映像、コンピュータRGB映像、色差（コンポーネント）、S映像、映像に対応した入力端子を装備しています。接続する機器の端子に合わせ、次のように接続してください。

コンピュータRGB映像や色差（コンポーネント）映像の出力端子を装備した機器と接続するときは本機のコンピュータRGB/色差（コンポーネント）端子（INPUT（入力）1または2）と接続することをおすすめします。

HDMIデジタル出力端子付きビデオ機器を市販のDVI/HDMIデジタルケーブルを使って接続する

HDMIデジタル出力端子のある機器を市販のDVI/HDMIデジタルケーブルを使ってINPUT（入力）3端子に接続します。

メモ

- ビデオ機器に合わせて、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。詳しくは65ページをご覧ください。
- HDMI出力端子付きのAV機器を本体のDVI入力端子に接続したとき、本機に入力される信号はデジタル映像信号のみです。（音声は、AUDIO（音声入力2、3）端子に別に接続してください。）
- 音声ケーブルはピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。
- 接続するAV機器や変換ケーブルの仕様によっては、正常に動作しない場合があります。
（DVI/HDMIデジタル変換ケーブルを仕様した接続は、HDMI規格の認証外であり、全てのHDMIデジタル出力端子付きAV機器との接続を保証するものではありません。）
- 接続に関する互換性について詳しくは、接続するAV機器製造元のDVI接続のサポート情報で確認してください。

DVIデジタル出力端子付きビデオ機器を市販のDVIデジタルケーブルを使って接続する

DVIデジタル出力端子のある機器を市販のDVIデジタルケーブルを使ってINPUT（入力）3端子に接続します。

DVDなど

本体側面

INPUT（入力）3端子へ

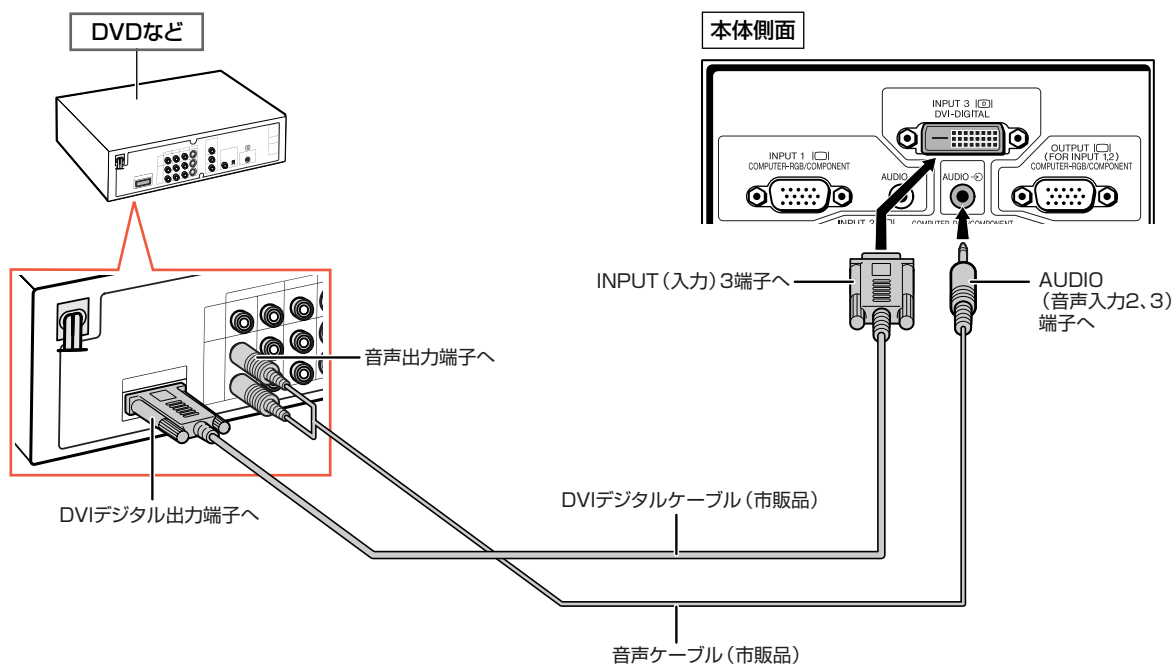
AUDIO（音声入力2、3）端子へ

音声出力端子へ

DVIデジタル出力端子へ

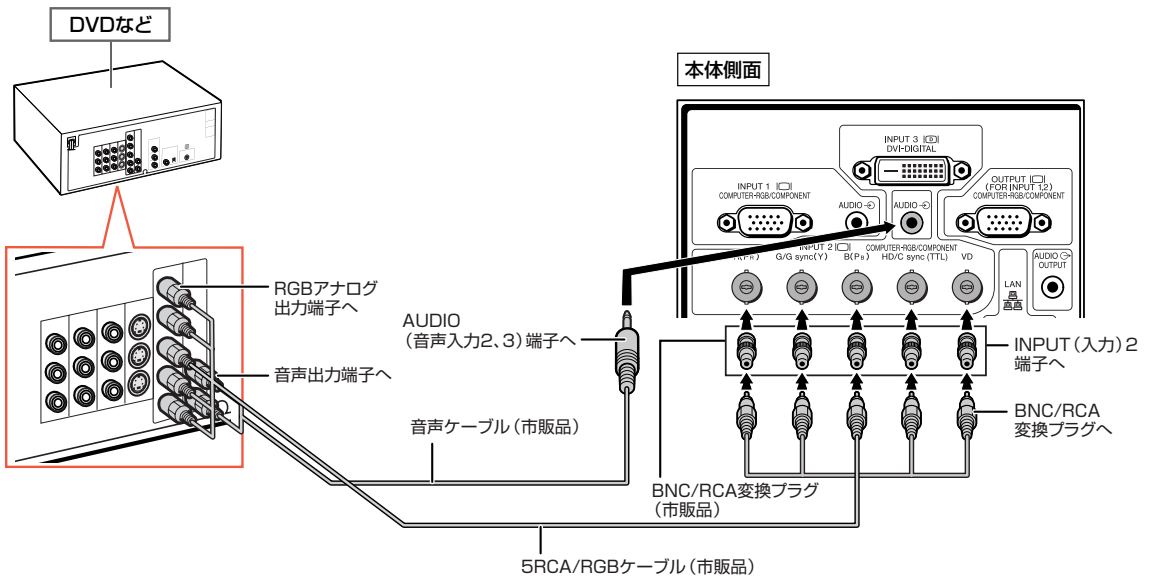
DVIデジタルケーブル（市販品）

音声ケーブル（市販品）

メモ

- ビデオ機器に合わせて、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。詳しくは**65**ページをご覧ください。
- 音声ケーブルはピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。

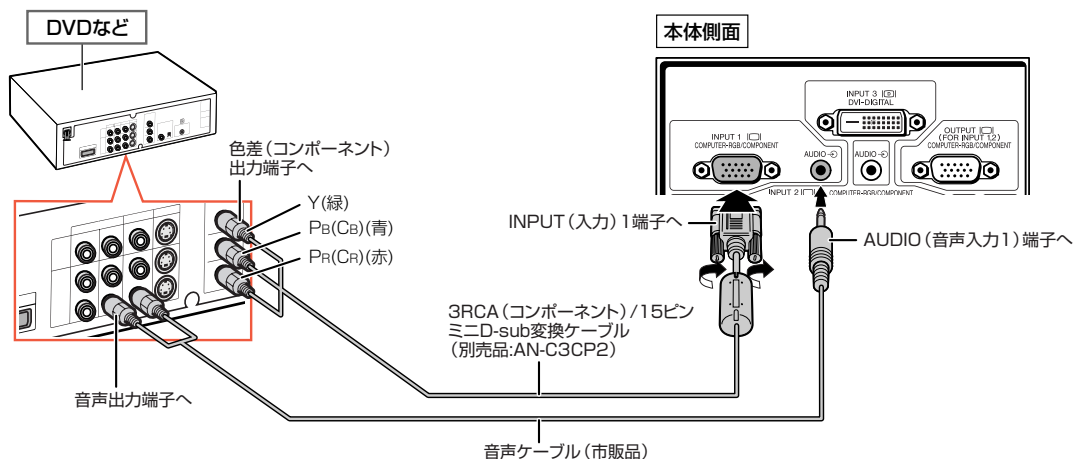
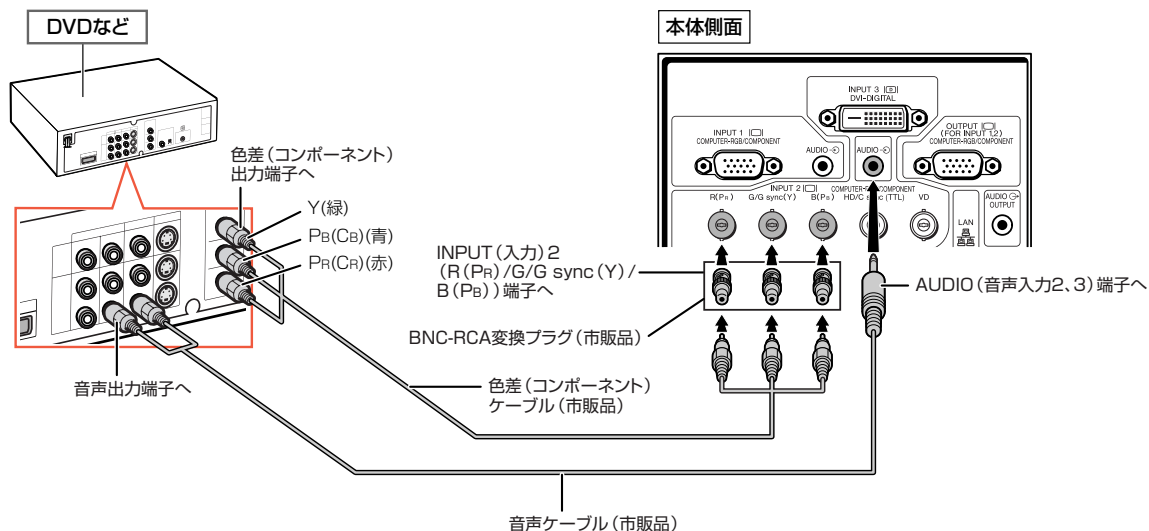
ビデオ機器を接続する(つづき)

RGBアナログ出力端子付きビデオ機器を市販の5RCA/RGBケーブルを使って接続する

RGBアナログ出力端子のある機器を市販の5RCA/RGBデジタルケーブルを使ってINPUT(入力)2端子に接続します。

メモ

- 「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。詳しくは**65**ページをご覧ください。
- プロジェクターに接続するRGBアナログ出力端子付き機器の仕様によっては、HD/CやVD端子を使用する場合があります。詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 音声ケーブルはピンジャック—φ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。
- HD/C sync端子はTTL信号専用の入力端子です。

色差(コンポーネント)出力端子付きビデオ機器と接続する

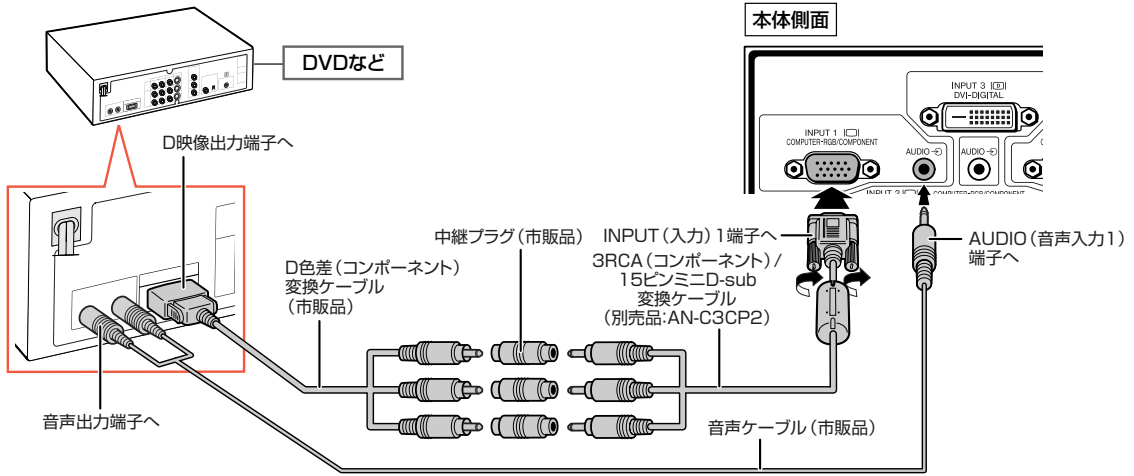
BSビデオデジタルチューナーやDVDプレーヤーなど、色差(コンポーネント)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、別売の3RCA(コンポーネント)/15ピンミニD-sub変換ケーブル(AN-C3CP2)を使って接続します。

BSチューナーやDVDプレーヤーなど、色差(コンポーネント)出力端子のある機器をINPUT(入力)2端子に接続するときは、市販のBNC-RCA変換プラグを使って接続します。

メモ

- 必要に応じて「同期調整」メニューの「特殊モード」を「480P/525P」や「576P/625P」に設定してください。(69ページ参照)
- 音声ケーブルはピンジャック−φ3.5ステレオミニタイプ(市販品)をご使用ください。

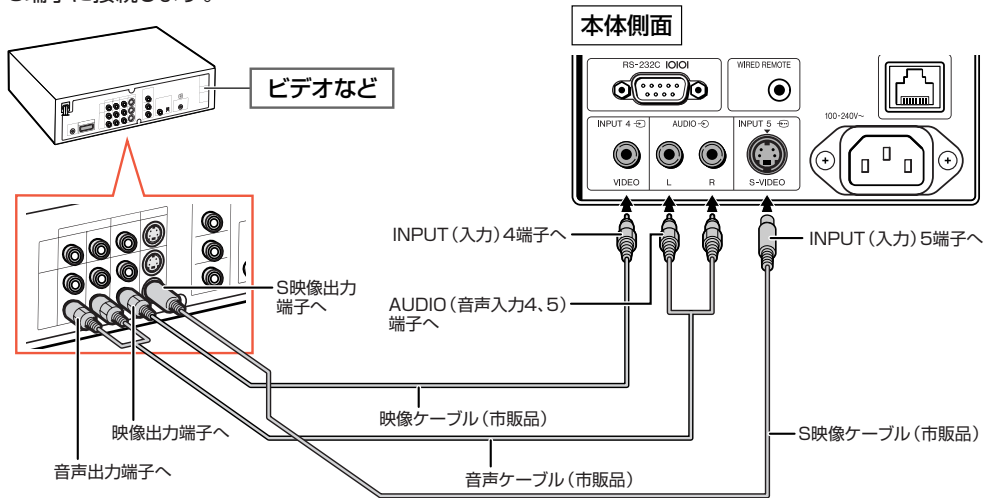
つづく

ビデオ機器を接続する（つづき）

BSチューナーやDVDプレーヤーなど、D映像出力端子のある機器をINPUT（入力）1端子に接続するときは、市販のD色差（コンポーネント）変換ケーブル、市販の中継プラグ、別売の3RCA（コンポーネント）/15ピンミニD-sub変換ケーブル（AN-C3CP2）を使って接続します。

メモ

- 音声ケーブルはピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。

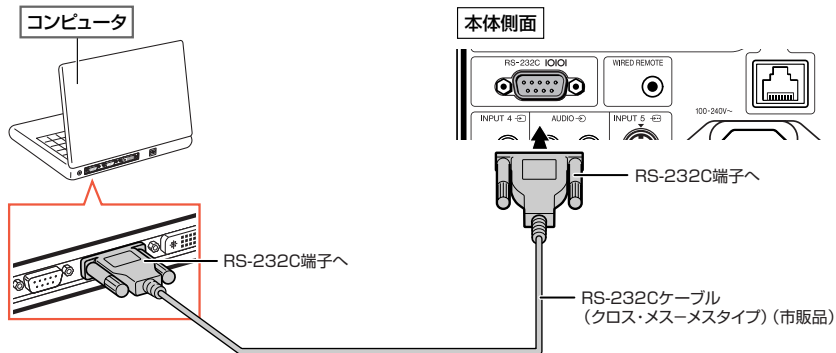
S映像ケーブルや映像ケーブルを使って接続する

ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT（入力）4/5端子に接続します。

メモ

- S映像出力端子付き機器と接続するときは、S映像ケーブル（市販品）を使い接続します。映像ケーブル（市販品）で接続するときよりも、きれいな映像が楽しめます。
- 音声ケーブル（市販品）は、RCA音声ケーブルをご用意ください。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。また、LAN端子にLANケーブルを接続すると、ネットワーク経由でプロジェクターを制御することができます。詳しくは同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。

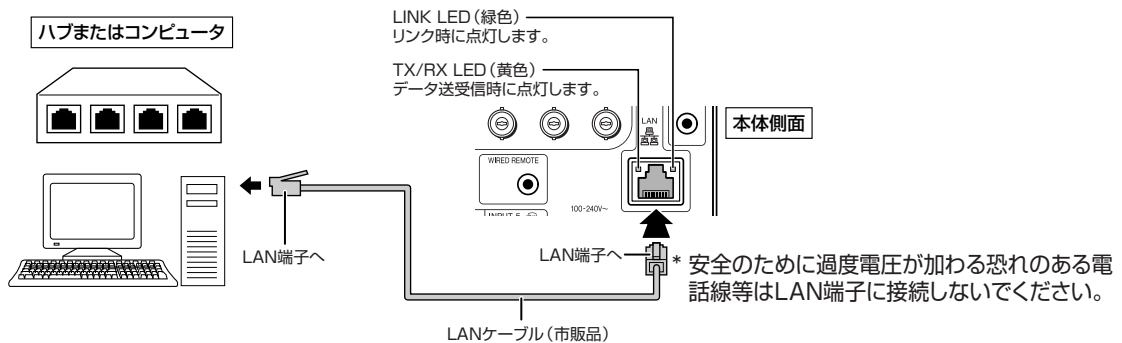
コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続するとき

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- **RS-232Cの仕様とコマンドについては、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。**

お知らせ

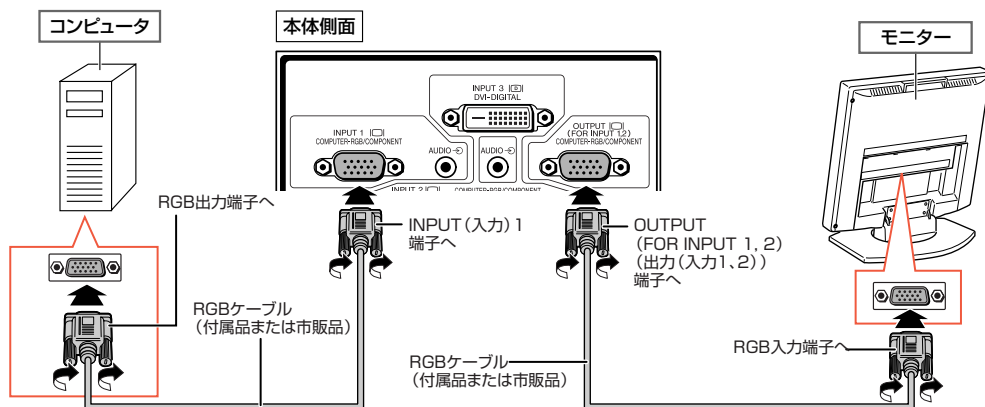
- コンピュータ側のシリアル（RS-232C）ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因となることがあります。

プロジェクターのLAN端子にLANケーブルを接続するとき

＊ 安全のために過度電圧が加わる恐れのある電話線等はLAN端子に接続しないでください。

メモ

- LANケーブルはカテゴリー5を使用してください。
- **コンピュータと本機を1対1で接続する場合には、クロスタイプのケーブルを使用してください。**
- **ハブに本機を接続する場合には、ストレートタイプのケーブルを使用してください。**

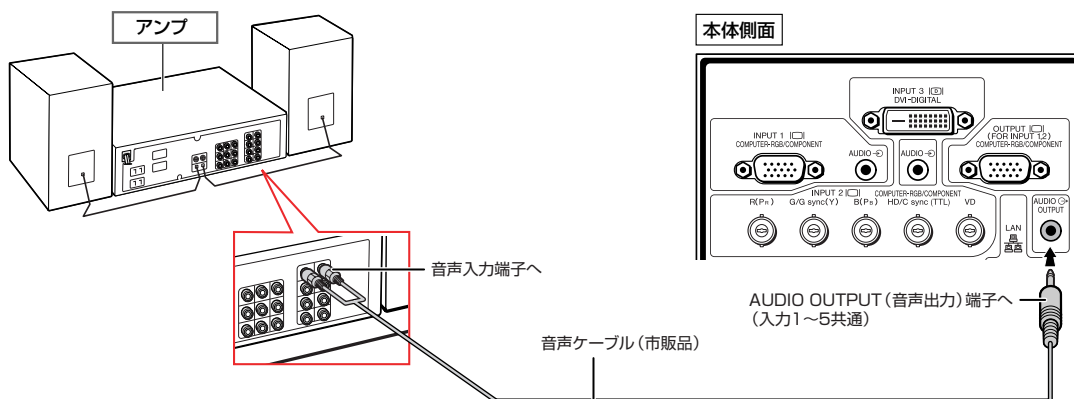
RGB入力端子付きモニターを接続する

本機はRGBケーブルを使って、入力する映像をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

メモ

- INPUT（入力）1端子またはINPUT（入力）2端子 のRGB信号および色差（コンポーネント）信号をモニター出力することができます。

アンプやその他のオーディオ機器と接続する

本機の各AUDIO INPUT（音声入力）端子に接続されている機器から入力された音声をオーディオ機器などへ出力することができます。出力される音声は、選ばれた入力モードの音声が出力されます。

メモ

- 音声ケーブルはピンジャック－φ3.5ステレオミニタイプ（市販品）をご使用ください。
- アンプ等と接続して使用している場合、電源を切るときはアンプの電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。
- 音声を出力する際の方法は、本機の音声に連動して音声出力が可変する音声出力可変と音声出力固定の2つの方法があります。詳しくは**72**ページをご覧ください。

電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

AC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。（29～38ページ）

レンズキャップを外し、本体の ON またはリモコンの ON を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。詳しくは79ページをご覧ください。

メモ

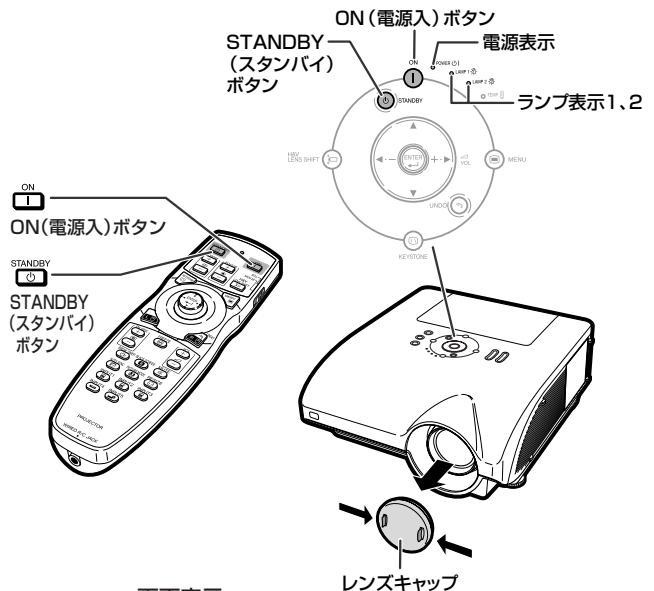
ランプ表示について

- 動作状況を以下のようにお知らせします。
  - 緑色点灯：ランプ点灯中
  - 緑色点滅：ランプ起動中
  - 赤色点灯：ランプが正常に起動しない（点灯しない）/ランプ交換
- 電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ（光源）が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 「ダイレクトオン」が「ON」に設定されている場合、電源コードをコンセントに差し込むと、本機は自動的に起動します。

電源を切る（待機状態にする）とき

1 本体の STANDBY またはリモコンの STANDBY を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

▼画面表示

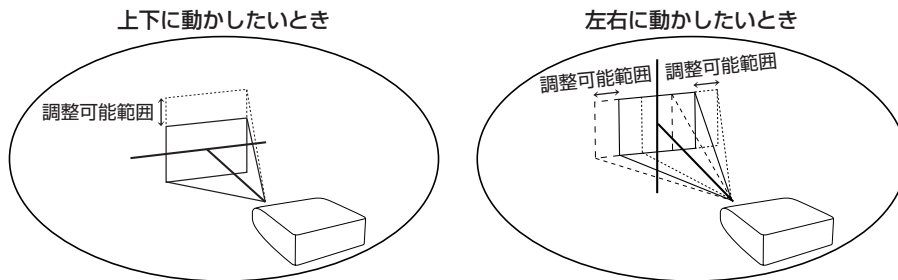
待機状態にしますか？
決定：もう一度押す　中止：少し待つ

お知らせ

- 本機が作動中であっても電源コードを抜くことができます。
- 本機から電源コードを抜いたあとも、冷却ファンはしばらく作動し続けます。

使ってみる

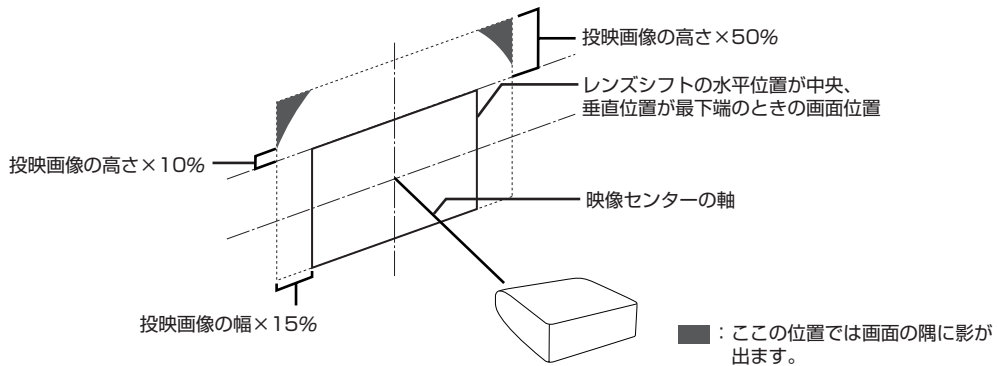
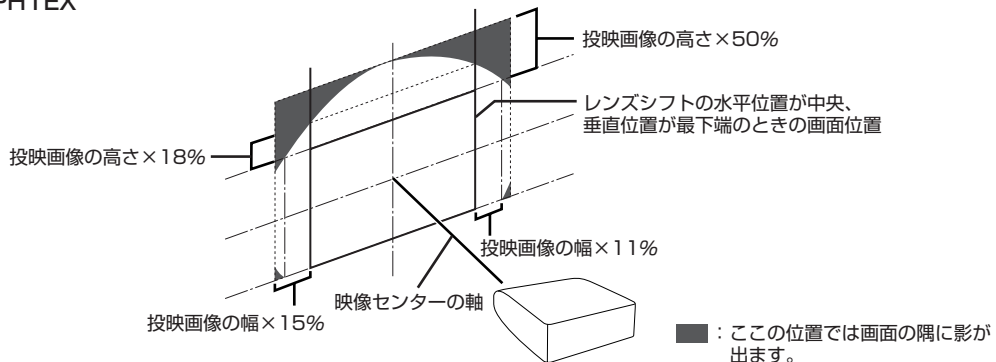
レンズシフト機能を使って投映位置を調整する

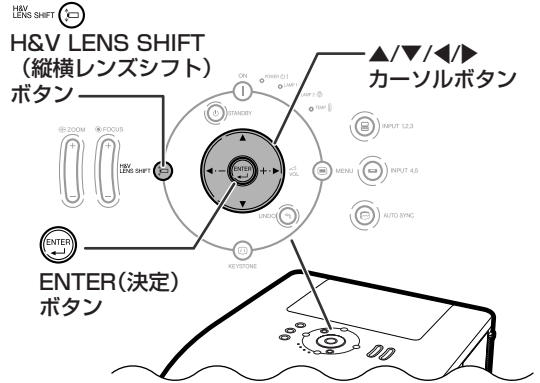
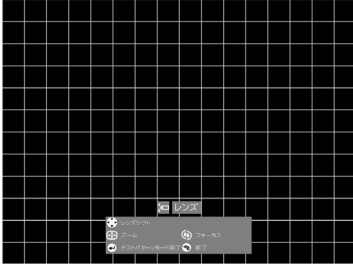
ズーム機能やアジャスターを利用した投映角度調整に加え、光学レンズシフト機能により、投映位置を調整できます。設置場所の条件によりスクリーンを動かせない場合などに便利な機能です。

レンズの調整可能範囲

本機のレンズシフトの調整可能範囲は、以下のようになります。
　水平方向：±15%
　垂直方向：+50%（上向）
　上記範囲内であっても一部制限があります。
イメージは図のようになります。

AN-PH2EZ、AN-PH31EZ、AN-PH4EZ、AN-PH5EZ、AN-PH6EZ

AN-PH1EX

1 **本体の H&V LENS SHIFT ボタン またはリモコンの**
 を押す

- 本体の ENTER またはリモコンの ENTER を押すと、テストパターンが表示されます。テストパターンはより正確な調整をするときに便利です。

▼画面表示

2 **本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押し、調整する**

アジャスターを使って投映角度を調整する

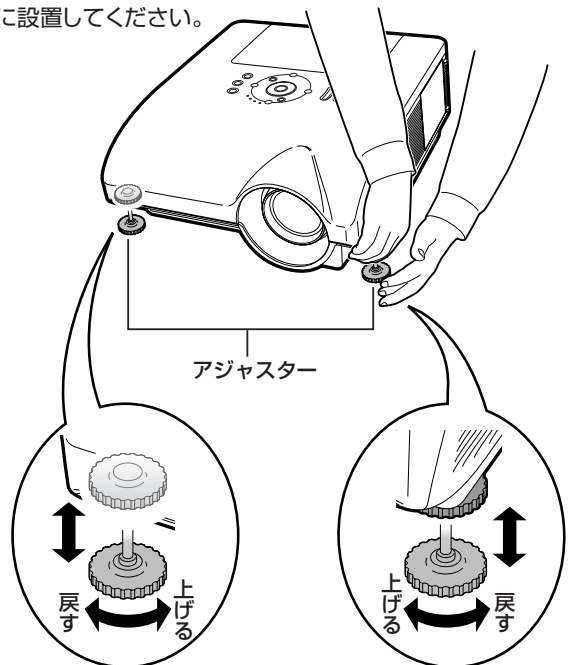
- レンズシフト機能を使っても投映位置が調整できないようなときにアジャスターを使って角度を調整します。
- プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときや、スクリーンに傾斜があるとき、または設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。
- プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

1 **プロジェクターを持ち上げたまま、アジャスターを回す**

- 設置位置から約9度まで角度調整ができます。

2 **プロジェクターを下へおろし、アジャスターを回して微調整する**

- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

使ってみる

つづく

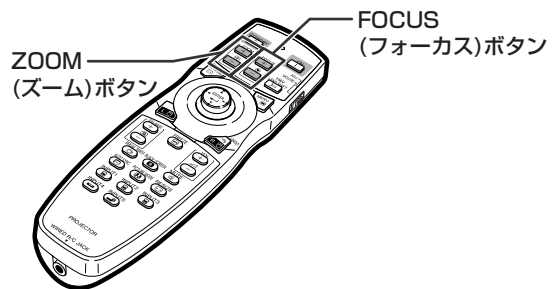
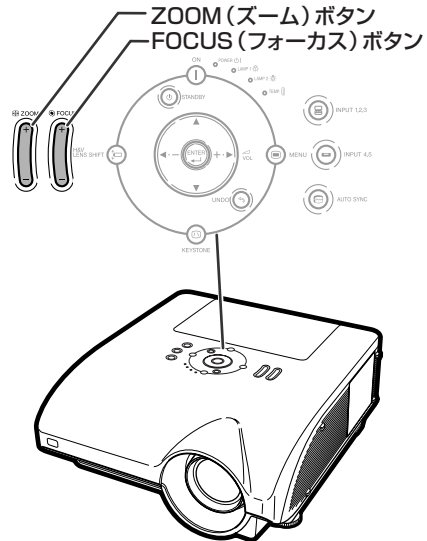
投映のしかた（つづき）

フォーカス（ピント）を調整する

本体の FOCUS またはリモコンの FOCUS を押してフォーカス（ピント）をあわせる

▼画面表示

レンズ

レンズシフト	
ズーム	フォーカス
テストパターンモード	終了

投映画像の大きさを調整する

本体の ZOOM またはリモコンの ZOOM を押して画面サイズをあわせる

▼画面表示

レンズ

レンズシフト	
ズーム	フォーカス
テストパターンモード	終了

メモ

- 本体またはリモコンのFOCUS（フォーカス）ボタンやZOOM（ズーム）ボタンを押した後に、ENTER（決定）ボタンを押すとテストパターンを表示できます。より正確な調整をするときに便利です。
- H&V LENS SHIFT（縦横レンズシフト）、FOCUS（フォーカス）、ZOOM（ズーム）ボタンを使って調整するとき、ボタンを押してから約1秒間は微調整のため小さく動きます。大きく動かしたいときは、ボタンを押し続けてください。

画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正）

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。
この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

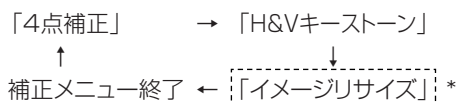
キーストーン補正には2つの方法があります。
1）画面上の4点を指定して台形歪みを補正する「4点補正」方式
2）2軸（水平/垂直）の補正量を数値指定する「H&Vキーストーン」方式

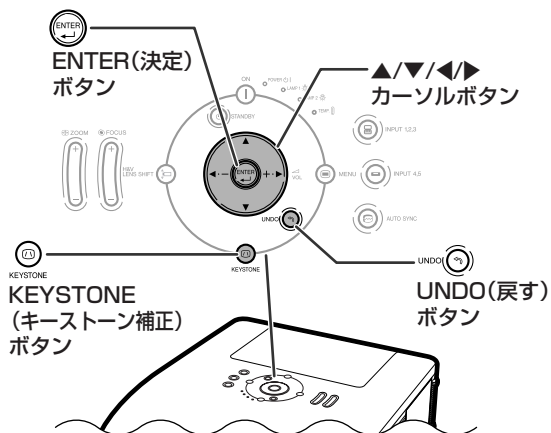
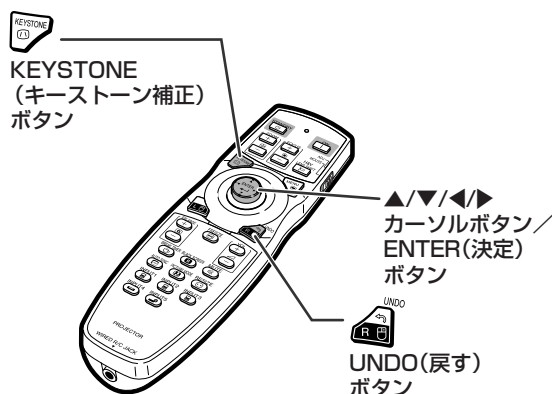
補正の方法を選択する

キーストーン補正をする方法を選択します。

本体の KEYSTONE またはリモコンの KEYSTONE を押す

- 「4点補正」画面が表示されます。
- KEYSTONE または KEYSTONE を押すたびに、以下の順番で切り換わります。

「4点補正」 → 「H&Vキーストーン」
↑　　　　　　　↓
補正メニュー終了 ← 「イメージリサイズ」 *

4点補正	画面の4点を指定し、歪みを補正する機能です。
H&Vキーストーン	H：水平方向の歪みを補正します。 V：垂直方向の歪みを補正します。
イメージリサイズ	「H&Vキーストーン」で補正し切れない歪みを調整します。 *「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに調整できます。（「4点補正」方式で補正した場合は使用しません。）

使ってみる

投映のしかた（つづき）

4点補正を行う

1 「4点補正」画面が表示されるまで、本体の KEYSTONE またはリモコンの KEYSTONE を繰り返し押す

2 下記のボタンを押して、投映画像の位置/大きさ/ピントの調整を行う

- スクリーンの縁が緑色の領域に重なるように調整してください。
- ▲/▼/◀/▶を押した時は、レンズシフトが行えます。
- 本体の ZOOM またはリモコンの ZOOM を押した時は、ズーム調整が行えます。
- 本体の FOCUS またはリモコンの FOCUS を押した時は、ピント調整が行えます。

▼画面表示

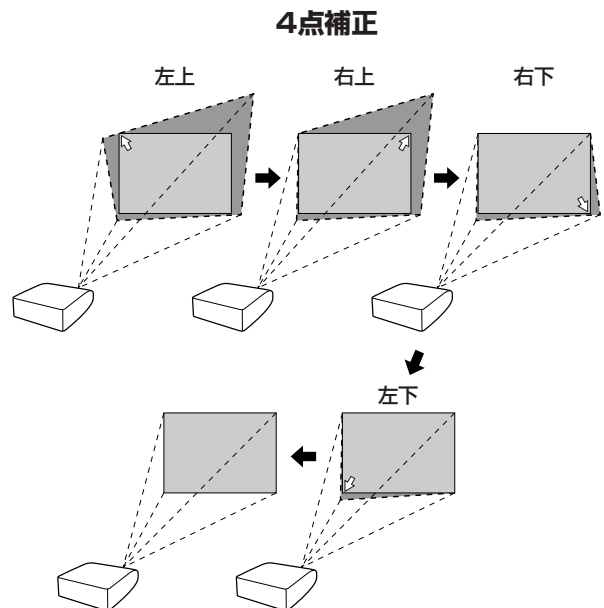
3 本体の ENTER またはリモコンの ENTER を押す

4 本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映したい画面の左上の位置を調整する

- 黄色枠の左上がスクリーンの左上に合うように調整してください。

5 ENTER または ENTER を押して位置を確定する

6 同じ手順で、投映したい画面の右上、右下、左下の位置も調整する

- このとき本体の UNDO またはリモコンの UNDO を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- 左上を調整する前に UNDO または UNDO を押すと、リセット確認画面が表示されます。
- **左下の位置を調整すると画面の補正が行われ「4点補正」モードを終了します。**

H&Vキーストーンを行う

1 **「H&Vキーストーン」画面が表示されるまで、本体の KEYSTONE またはリモコンの KEYSTONE を繰り返し押す**

- 「4点補正」モードで補正済みの場合は、「H&Vキーストーン」に入る前に、リセットするかどうかの確認画面が表示されますので、リセットしてください。

▼画面表示

H&Vキーストーン H：0 V：0
終了 調整
テストパターンモード リセット

2 **本体またはリモコンの▲/▼を押して、投映画面の左右の辺が平行になるように調整する**

V（縦）キーストーン（▲/▼で調整）

3 **本体またはリモコンの◀/▶を押して、投映画面の上下の辺が平行になるように調整する**

H（横）キーストーン（◀/▶で調整）

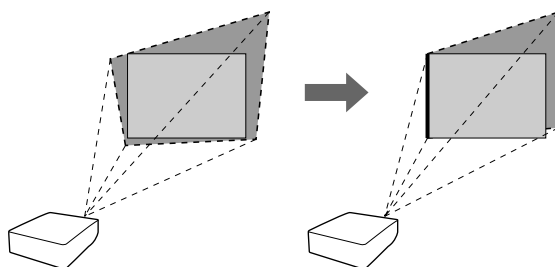
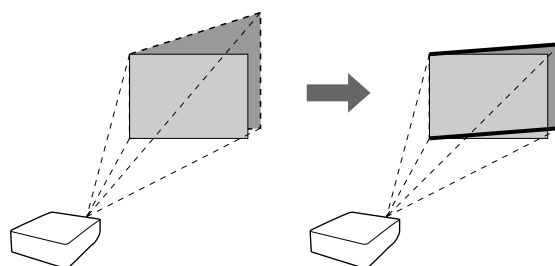
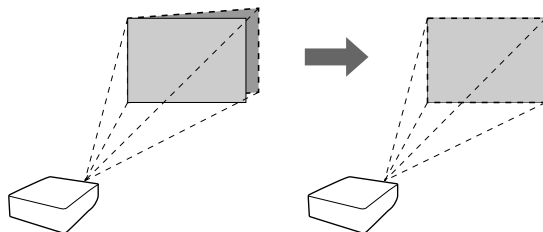
4 **KEYSTONE または KEYSTONE を押して「イメージリサイズ」モードにする**

- 「H&Vキーストーン」の値が「0」以外のときに働きます。

▼画面表示

イメージリサイズ
終了 調整
テストパターンモード リセット

使ってみる

つづく

5 **本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の歪みを調整する**

6 **KEYSTONE または KEYSTONE を押して「イメージリサイズ」モードを終了する**

入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力モードを選択します。

リモコンの INPUT1、INPUT2、INPUT3、INPUT4 または INPUT5 を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の INPUT 1,2,3 を押すと、
  →入力1→入力2→入力3
  の順番で切り換わります。
- 本体の INPUT 4,5 を押すと、入力4と入力5が交互に切り換わります。

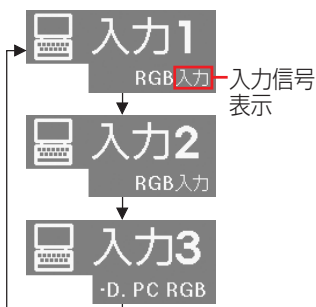
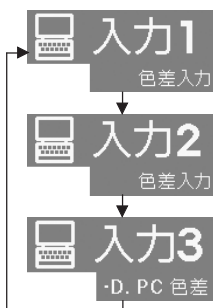
メモ

- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けとると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「オプション（1）」メニューの「自動入力サーチ」が「ON」になっていると、信号が入力されている入力モードを自動検出し、表示することができます。（78ページ）
- 「オプション（1）」メニューの「OSD表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、入力モードは表示されません。（75ページ）

入力モードについて

入力1/入力2（RGB/色差（コンポーネント））	INPUT（入力）1または2端子に接続した機器のRGB信号または色差（コンポーネント）信号を投映したいとき
入力3（デジタルPC RGB/デジタルPC色差（コンポーネント）/デジタルビデオRGB/デジタルビデオ色差（コンポーネント））	INPUT（入力）3端子に接続した機器の映像を投映したいとき
入力4（ビデオ）	INPUT（入力）4端子に接続した機器の映像を投映したいとき
入力5（S-ビデオ）	INPUT（入力）5端子に接続した機器の映像を投映したいとき

▼入力モード画面表示（例）

☞ 本体の INPUT 1,2,3 を押したとき

☞ 本体の INPUT 4,5 を押したとき

自動入力サーチが「ON」のとき

- 本体の INPUT 1,2,3 / INPUT 4,5 を1度押すと、現在選択されている入力が表示されます。
- 再度 INPUT 1,2,3 / INPUT 4,5 を押すと、自動入力サーチが始まります。

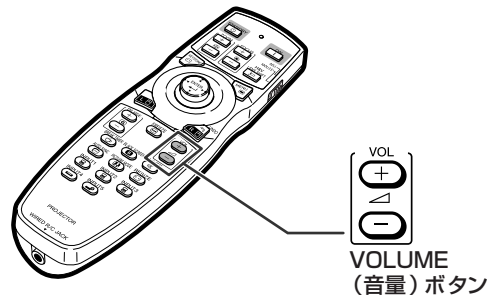
つづく

使ってみる

本体の音量を調整する

リモコンの VOL を押し、スピーカーの音量を調整する

- 本体では、◀または▶を押してスピーカーの音量を調整することができます。

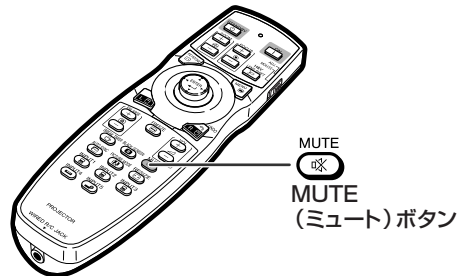
- ⊖または◀を押すと音量が小さくなります。
  ⊕または▶を押すと音量が大きくなります。

▼画面表示

出力した音声を一時的に消す

音声を一時的に消したいときはリモコンの MUTE を押す

- もう一度 MUTE を押すと、音声がもとに戻ります。

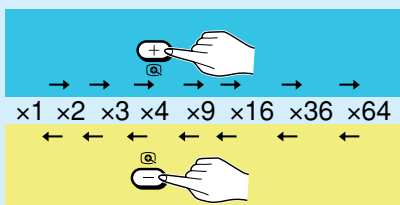
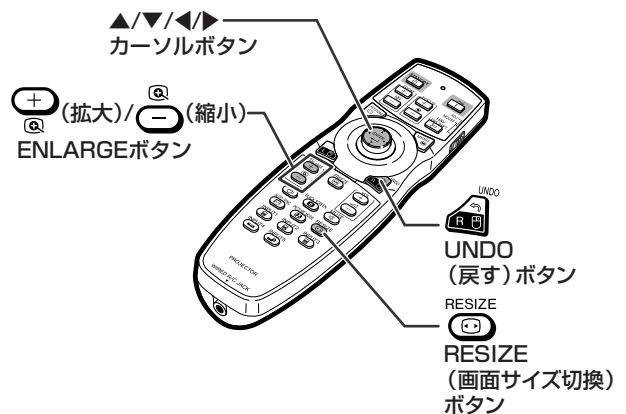
▼画面表示

ミュート

画像の一部を拡大表示する

グラフや表など画像の一部を拡大することができます。より詳しい説明をするときに便利です。

1 リモコンの ⊕ を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- ⊕(拡大)または⊖(縮小)で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ

- ▲/▼/◀/▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2 リモコンの を押し解除する

• 倍率は×1に戻ります。

メモ

次の場合、拡大された画像がもとの大きさ（×1）に戻ります。

• 入力切換を行ったとき
• UNDO を押したとき
• RESIZE を押したとき
• 入力信号を変更したとき
• 入力信号の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）が変わったとき

画像を静止状態にする

投映中の画像を静止画にすることができます。より詳しい説明をするときに便利です。

リモコンの FREEZE を押す

• 投映中の画像が静止画になります。

FREEZE を再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

リモコンの PICTURE MODE を押す

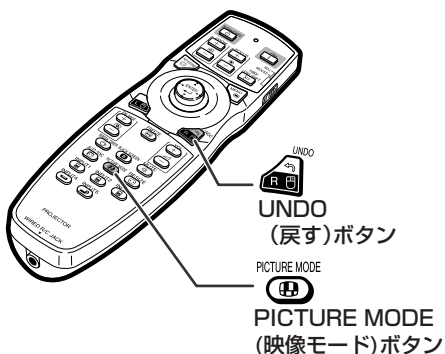
• 押すたびに

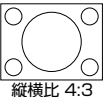
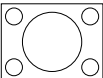
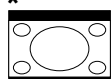
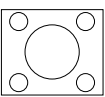
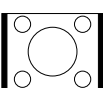
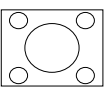
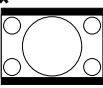
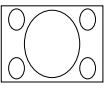
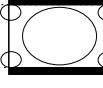
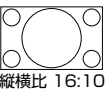
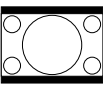
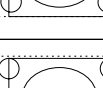
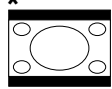
→標準→プレゼンテーション→シネマ→ユーザー設定

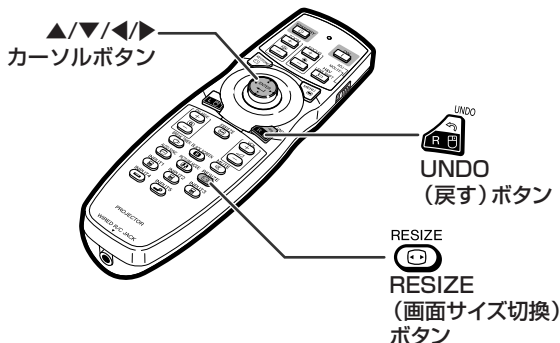
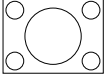
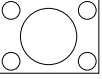
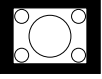
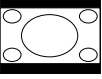
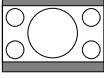
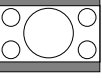
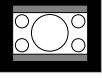
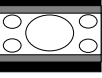
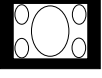
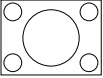
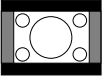
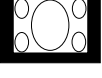
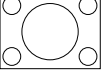
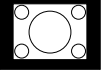
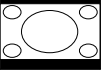
の順番で切り換わります。

メモ

• を押すと「標準」に戻ります。
• 映像モードについて、詳しくは62ページをご覧ください。

使ってみる

入力された信号の種類に合わせて、お好みの画面サイズに切り換えることができます。表を参考に最適な画面サイズを選んでください。

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

リモコンの RESIZE を押す

- 押すたびに、画面サイズは表のように変わります。
- 初期の状態に戻すには、「画面サイズ」が画面に表示されているときに UNDO を押してください。
- メニューで操作する場合は74ページを参照してください。

コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ（フル）
縦横比4:3	SVGA (800×600)	1024×768	1024×768	800×600	768×576	1024×576
	XGA (1024×768)			1024×768		
	SXGA (1280×960)			1280×960		
	SXGA+(1400×1050)			1400×1050	–	
そのほか	SXGA (1280×1024)	968×768		1280×1024	720×576	
	1280×720	1024×576		1280×720	–	–
	1360×768	1024×578		1360×768		
	1366×768	1024×576		1366×768		
	1280×768	1024×614		1280×768	960×576	1024×576
	1280×800	1024×640		1280×800	922×576	

入力信号		4:3 スクリーン			16:9 スクリーン	
コンピュータ	画像タイプ	標準	フル	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ（フル）
XGAより解像度が低い	縦横比 4:3		—		*	*
XGA				—		
SXGA (1280×960)					—	
SXGAより解像度が高い						
SXGA (1280×1024)	縦横比 5:4				*	
1280×720	縦横比 16:9	*			「標準」を選んでください	
1360×768 1366×768						
1280×768	縦横比 16:10				*	*
1280×800						

■：マスクされ映像がない部分
┆┆：パネルからはみ出た信号部分
*これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

ビデオ

入力信号		4:3 スクリーン		16:9 スクリーン		
DTV/ビデオ	画像タイプ	ズーム	フル	標準	スクイーズ（フル）	ワイド
525I、525P、576I、576P、NTSC、PAL、SECAM	縦横比 4:3		—	*	*	*
	レターボックス			*	*	*
	スクイーズ			*	*	*
540P	縦横比 16:9	「スクイーズ（フル）」を選んでください		—	*	—
	4:3の映像を16:9信号に記録した映像	「フル」を選んでください			*	
750P、1125I、1035I	縦横比 16:9	「スクイーズ（フル）」を選んでください		*	*	
	縦横比 4:3	「フル」を選んでください		*	*	

■：マスクされ映像がない部分
■：元の信号自体に映像がない部分
*これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

本機に入力される信号と表示について

DVD やデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数と総走査線数を表示しますので、次のようになります。

入力信号	本機の表示（有効走査線数／総走査線数）
525I	480I/525I
525P	480P/525P
750P	720P/750P
1125I	1080I/1125I

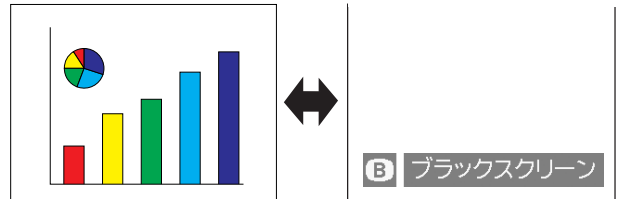
投映画面を黒にする（ブラックスクリーン）

この機能は投映された画像を一時的に消したいときに使います。

1 BLACK SCREEN B **を押す**

- 画面が黒になり、「ブラックスクリーン」の文字が画面に表示されます。

2 **元の投映画面に戻すには、**BLACK SCREEN B **をもう一度押す**

▼投映される映像

休憩時間を表示する

この機能は、会議中に休憩の残り時間を表示したいときに使います。

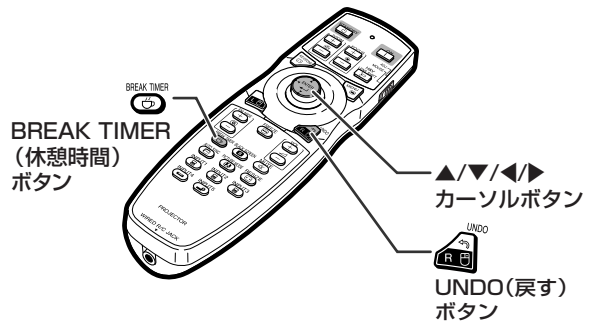
1 BREAK TIMER **を押す**

- 休憩時間のカウントが始まります。

2 **「 」が表示されているときに▲または▼、◀、▶を押し、休憩時間を設定する。**

- 1分から60分の間で設定できます。（1分単位）
- 休憩時間は▲、▼、◀、▶を押すとすぐに秒読みを始めます。

▼表示画面

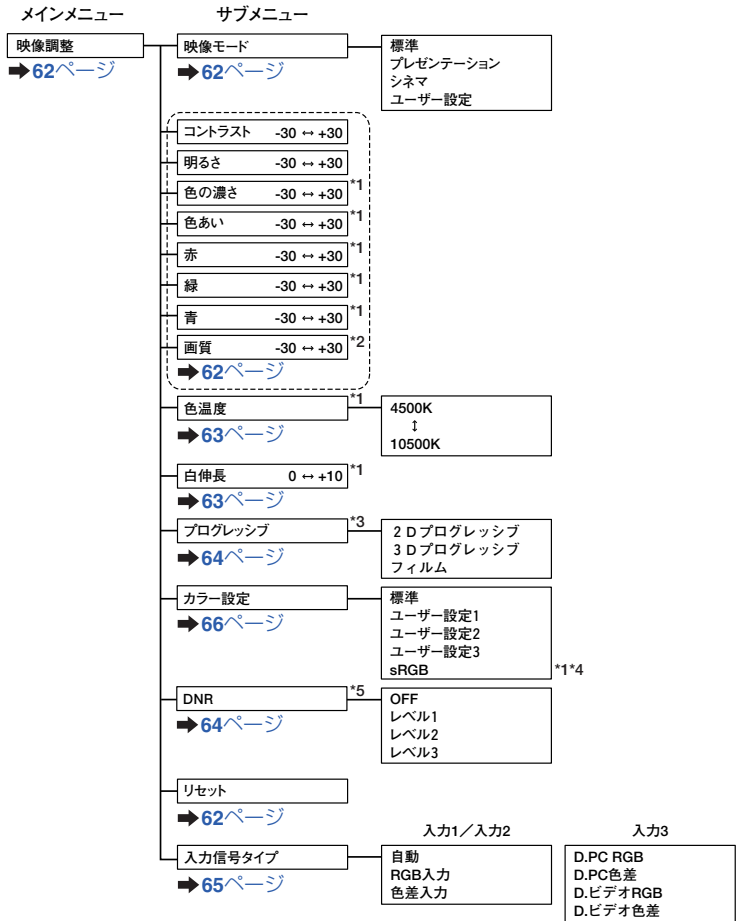
メモ

- UNDO を押すと休憩時間表示が解除されます。
- 休憩時間中は無信号自動電源オフ機能が一時無効になります。
  休憩終了後に無信号状態が15分続くと、電源が自動的に待機状態になります。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されます。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。（77ページ）
- スタック設定（84ページ）で本機をスレーブに設定した場合、休憩時間は表示されません。

メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

入力1／入力2／入力3

▽ボタンを押すと、さらに下の項目が表示されます。

*1 「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、以下の項目の調整は行なえません。
「色の濃さ」「色あい」「赤」「緑」「青」「色温度」「白伸長」

*2 「画質」は、525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035I のいずれかの信号が入力されているときのみ設定できる項目です。

*3 「プログレッシブ」は525I, 576I 信号が入力されているときのみ設定できる項目です。

*4 「sRGB」は以下のいずれかのときのみ選択できる項目です。
- 「入力信号タイプ」が「RGB入力」「D.PC RGB」「D.ビデオRGB」のいずれかに設定されている場合。
- 「入力信号タイプ」が「自動」に設定されていて、かつ入力されている信号が「RGB入力」と判別された場合。

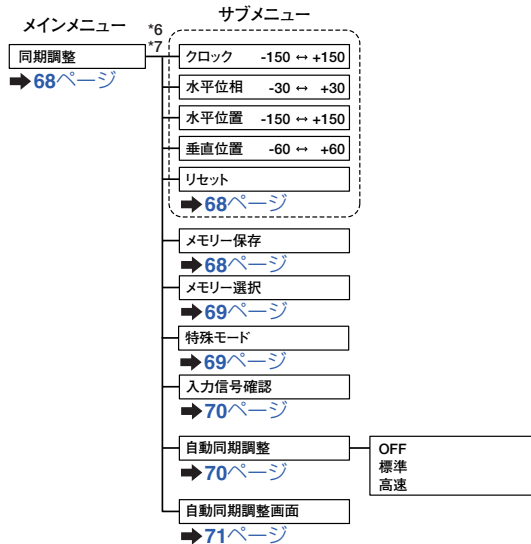
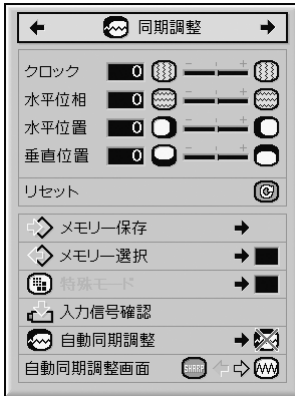
*5「DNR」は以下の信号が入力されているときのみ設定できる項目です。
525I, 525P, 576I, 576P

メニュー内容一覧（つづき）

「映像調整」メニュー

「C.M.S.」メニュー

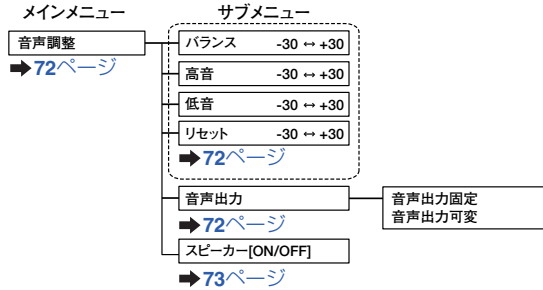
「同期調整」メニュー

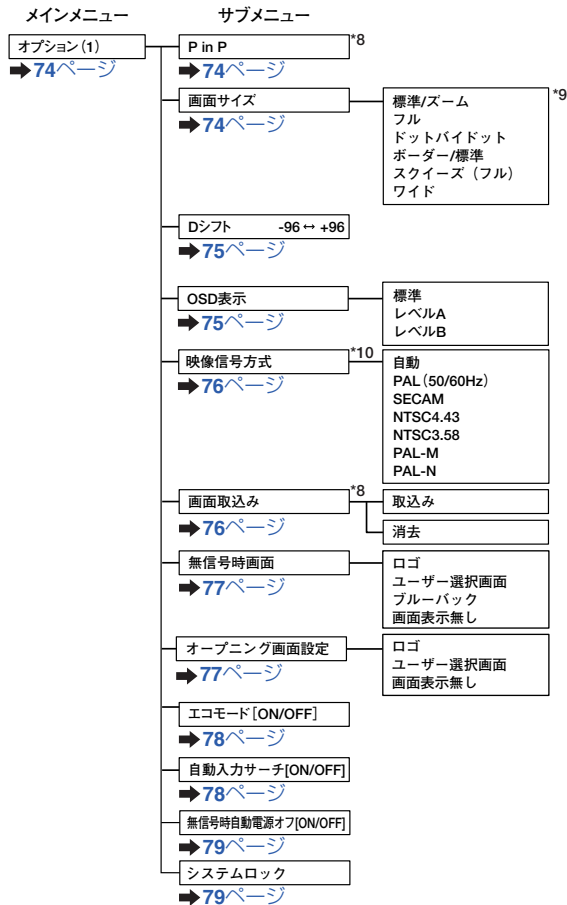
入力1／入力2／入力3

*6 「同期調整」メニューは本機の入力がINPUT（入力）1／2／3のときのみ表示されます。

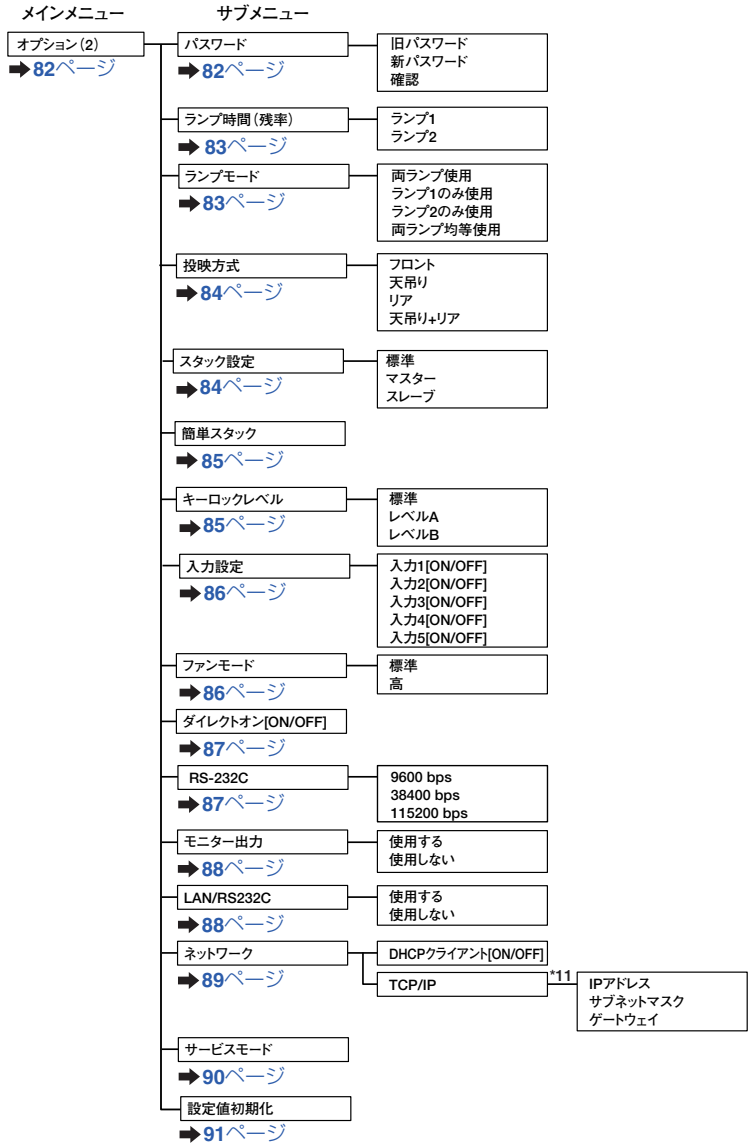
*7 以下の項目は、入力１あるいは２のときのみ設定できる項目です。
「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」「リセット」
「メモリー保存」「メモリー選択」「特殊モード」

便利な機能

メニュー内容一覧（つづき）

「音声調整」メニュー

「オプション（1）」メニュー

入力1／入力2／入力3

入力4／入力5

*8 入力１、入力２あるいは入力３にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。
*9 画面サイズで選択できるモードは信号によって異なります。
*10 入力４あるいは入力５を選択しているときに設定できる項目です。

「オプション（2）」メニュー

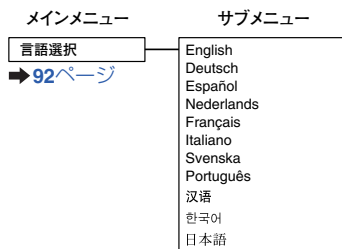
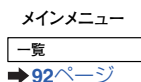
*11「DHCPクライアント」が「OFF」に設定されているときのみ調整可能です。

「言語選択」メニュー

「一覧」メニュー

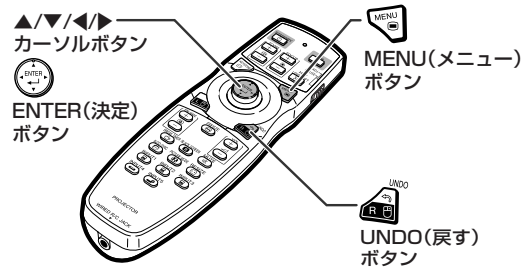
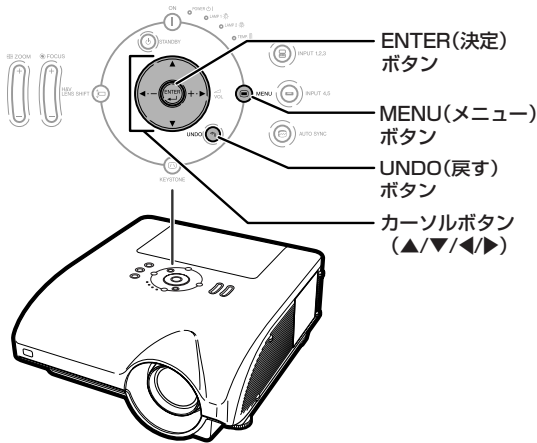
メインメニュー

一覧

➡92ページ

メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。
（設定方法は60～61ページをご覧ください。）

メニュー画面で調整する

例：「明るさ」を調整するとき
• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀ または▶ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ

メニュー項目

映像調整 | C.M.S. | 同期調整 | 音声調整 | オプション | オプション | 言語選択 | 一覧

• メニュー項目は下記の項目があります。

メニュー項目
映像調整
C.M.S.
同期調整
音声調整
オプション
オプション
言語選択
一覧

メモ
• 入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

• 「映像調整」では「青」から▽を押すと残りの映像調整項目が表示されます。

投映している画像を見ながら調整したいとき

 を押す

• 選んだ単独調整項目（例:「明るさ」など）だけが表示されます。
• この項目の状態で▲または▼を押すと次の項目（「明るさ」の次は「色の濃さ」）が表示されます。

• を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整（設定）をする

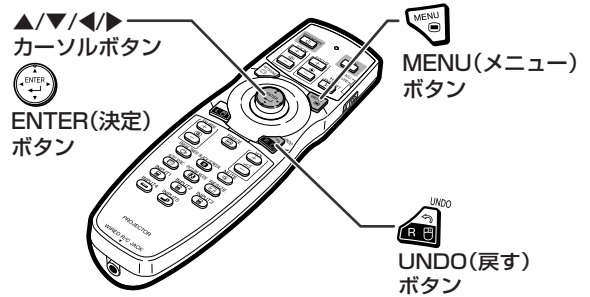
• 調整した内容が保存されます。

5 MENUを押す

• メニュー画面が消えます。

便利な機能

メニュー操作のしかた（つづき）

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。設定は次の手順に従って行います。（調整方法は58～59ページをご覧ください。）

メニュー画面で設定する

例：「OSD表示」を設定するとき
• 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **MENU を押す**

• 選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

2 **◀ または▶ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ**

• メニュー項目は下記の項目があります。

例：「オプション（1）」を選んだとき

メモ

• 入力4または入力5のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。

3 ▲または▼を押し、設定する項目を選ぶ

• 「映像調整」では「青」から▽を押すと残りの映像調整項目が表示されます。

メモ

• UNDO を押すと、前の画面に戻ります。
• 項目によっては、◀ または▶を押し「⇨」でアイコンを選び設定します。

4 ▶を押し、カーソルをサブメニューに動かす

5 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

6 を押す

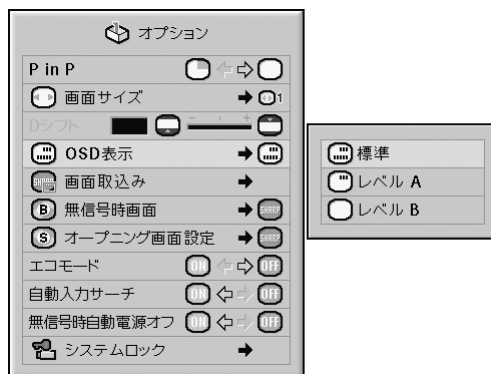
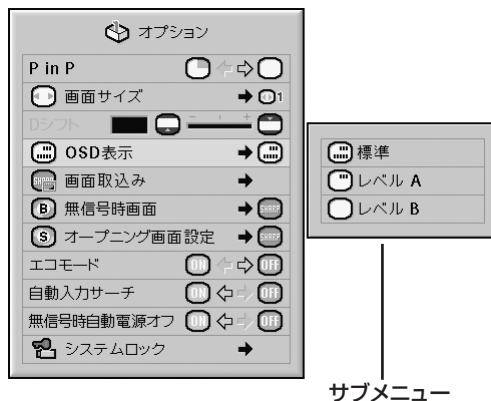
• 選んだ項目が設定されます。

メモ

• メニューの項目によっては、設定内容の確認画面が表示されます。
項目を設定するときは◀ または▶で「はい」または「ＯＫ」を選び、ENTER を押します。

7 MENU を押す

• メニュー画面が消えます。

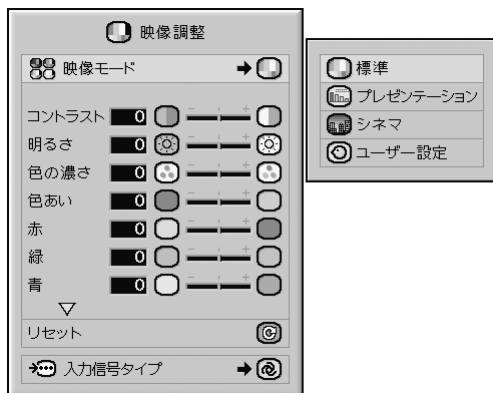
便利な機能

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー）

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

映像モードを選ぶ

部屋の明るさや投映する画像の内容に合わせて映像モードを選ぶことができます。
また、映像モードごとに、お好みの映像に調整することができます。調整内容はそのまま記憶されます。

操作方法➡**60**ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

映像モード設定の詳細

選択項目	内　容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。
ユーザー設定	工場出荷状態では、「標準」と同じ映像調整値になります。 専用のソフトウェアを使用することにより、ガンマカーブを調整することが可能です。専用ソフトウェアに関して詳しくは、弊社下記インターネットサイトを参照してください。 http://sharp-world.com/projector/

メモ

- リモコンのPICTURE MODE（映像モード）ボタンでも設定できます。（**49**ページ）

見やすい映像に調整する

調整するときは、先に映像モードを選んでから行ってください。

操作方法➡**58**ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

調整項目の詳細

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くします。	コントラストを強くします。
明るさ	画像を暗くします。	画像を明るくします。
色の濃さ*1	うすい色にします。	濃い色にします。
色あい*1	紫がかった色あいにします。	緑がかった色あいにします。
赤*1	赤みを弱くします。	赤みを強くします。
緑*1	緑を弱くします。	緑を強くします。
青*1	青みを弱くします。	青みを強くします。
画質*2	画像の輪郭をやわらかくします。	画像の輪郭をくっきりさせます。

*1 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」の調整は行えません。（**66**ページ）

*2 「画質」は、入力1、入力2あるいは入力3に525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035I のいずれかのDTV信号が入力されているとき、または入力4あるいは入力5を選択しているときに設定できる項目です。

メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び を押します。

色味を変える(色温度設定)

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

色温度設定の詳細

選択項目	内　容
4500K	赤みがかった映像になります。（温かい感じの色にしたいとき）
↕	↕
10500K	青みがかった映像になります。（冷たい感じの色にしたいとき）

メモ

- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、色温度設定は行えません。（66ページ）

白レベル(白伸長)を調整する

映像の明るい部分をより明るくします。

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

白伸長調整の詳細

◀ボタン	▶ボタン
数値を低くすると色再現性が良くなります。	数値を高くすると明るさが増加します。

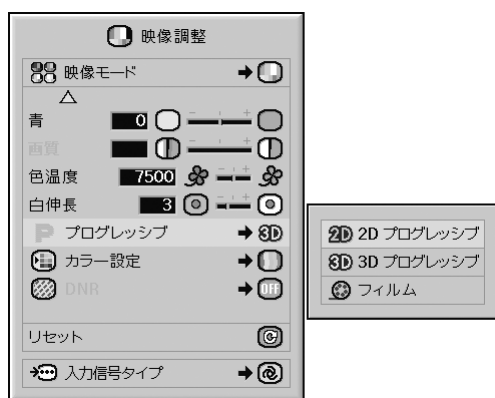
メモ

- 「C.M.S.」メニューの「カラー設定」が「sRGB」に設定されているときは、「白伸長」は調整できません。（66ページ）

投映した映像を調整・設定する（映像調整メニュー）（つづき）

プログレッシブモードを選択する

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

プログレッシブの詳細

選択項目	内　容
2Dプログレッシブ	スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ※ 映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

- 映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

ドットのちらつきやノイズを軽減する(DNR)

デジタルノイズリダクション（DNR）を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「映像調整」メニュー画面例

DNR設定の詳細

選択項目	内　容
OFF	DNRを動かせないとき
レベル1～3	DNRのレベルを設定するとき

メモ

- 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。

次のような場合は「OFF」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

お知らせ

- INPUT（入力）4またはINPUT（入力）5に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT（入力）1、2または3を選んでいるときは、入力された信号が525I、525P、576I、576PのときにDNRの設定が行えます。

INPUT(入力)1／2／3端子に接続した機器の信号タイプを設定する(入力信号タイプ設定)

INPUT(入力)1／2／3端子に接続した入力信号に合わせてRGBか色差(コンポーネント)を選択します。

操作方法➡60ページ参照

入力1(RGB)モードの「映像調整」メニュー画面例

入力信号タイプ設定の詳細

入力1／入力2

選択項目	内　　容
自動	入力されている信号がRGB信号か、色差(コンポーネント)信号かを自動的に判別します。
RGB入力	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	色差(コンポーネント)信号を入力したときに設定します。

入力3

選択項目	内　　容
D. PC RGB	デジタルPC RGB信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D. PC 色差	デジタルPC色差(コンポーネント)信号をコンピュータから入力したときに設定します。
D. ビデオRGB	デジタルビデオRGB信号を映像機器から入力したときに設定します。
D. ビデオ色差	デジタルビデオ色差(コンポーネント)信号を映像機器から入力したときに設定します。

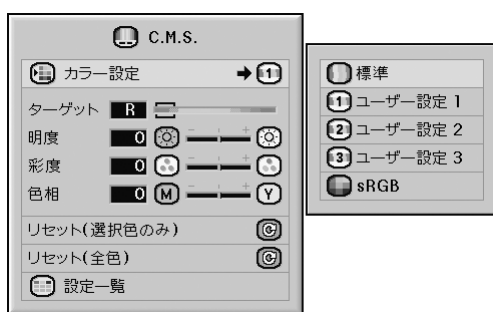
カラーマネージメント機能(C. M. S.メニュー)

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色それぞれを個別に調整できる機能です。

カラー設定モードを選ぶ

投映画像の色あいを設定します。

操作方法➡60ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

カラー設定の詳細

選択項目	内　容
標準	標準の設定
ユーザー設定 1〜3	「明度」、「彩度」、「色相」を6色それぞれに調整可能
sRGB	原画像に基づいた自然な色あい

メモ

- sRGBはIEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「カラー設定」を「sRGB」に設定すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
- **「カラー設定」が「sRGB」に設定されているとき**
  - 「映像調整」メニューの「色の濃さ」、「色あい」、「赤」、「緑」、「青」、「色温度」、「白伸長」は調整できません。
- sRGB機能についての詳しい情報は、http://www.srgb.com/を参照してください。

お知らせ

- 「カラー設定」を「sRGB」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する対象の色を選ぶ

特性を調整する対象の色を選びます。

操作方法➡58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

ターゲットの詳細

R	赤を選びます。	C	シアンを選びます。
Y	黄を選びます。	B	青を選びます。
G	緑を選びます。	M	マゼンタを選びます。

対象色の明るさを設定する

対象として選んだ色の明るさを設定します。

操作方法➡58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

明度の詳細

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を暗くします。	選んだ色を明るくします。

対象色の彩度を設定する

対象として選んだ色の彩度を設定します。

操作方法➡58ページ参照

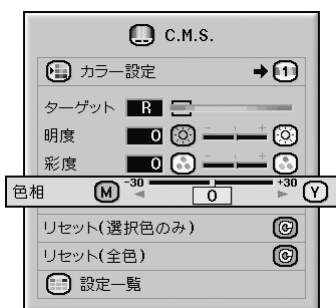
「C.M.S.」メニュー画面例

彩度の詳細

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色を淡くします。	選んだ色を濃くします。

対象色の色相を設定する

対象として選んだ色の色相を設定します。

操作方法➡58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

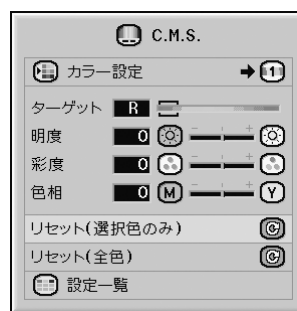
色相の詳細

◀ボタン	▶ボタン
選んだ色の赤みを増します。	選んだ色の黄みを増します。

色の設定をリセットする

色の設定をリセットします。

操作方法➡58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

リセットの詳細

選択項目	説明
リセット(選択色のみ)	ターゲットで選択している色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。
リセット(全色)	すべての色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定がリセットされます。

色の設定値を確認する

色の設定値を確認します。

操作方法➡58ページ参照

「C.M.S.」メニュー画面例

	R	Y	G	C	B	M
明度	0	0	0	0	0	0
彩度	0	0	0	0	0	0
色相	0	0	0	0	0	0

コンピュータの画面を調整・設定する(同期調整メニュー)

同期調整と表示モードの設定や入力信号の確認が行えます。

縦縞模様やチラツキを軽減する（同期調整）

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

同期調整の詳細

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します（トラッキング調整）。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を「標準」または「高速」にするか、本体の AUTO SYNC またはリモコンの AUTO SYNC を使うと、簡単に調整できます。詳細については70ページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び ENTER を押します。

画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

操作方法➡60ページ参照

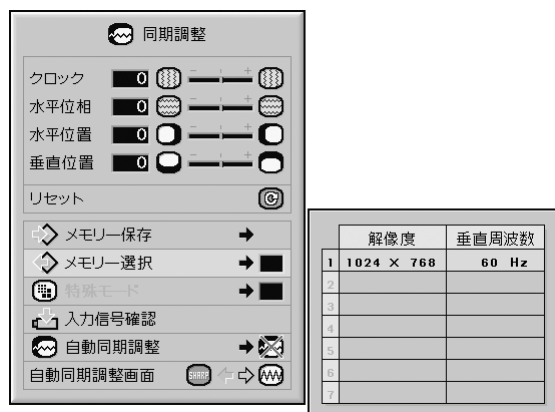
入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

	解像度	垂直周波数
1	1024 × 768	60 Hz
2		
3		
4		
5		
6		
7		

登録した調整内容を呼び出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を呼び出して設定することができます。

操作方法➡60ページ参照

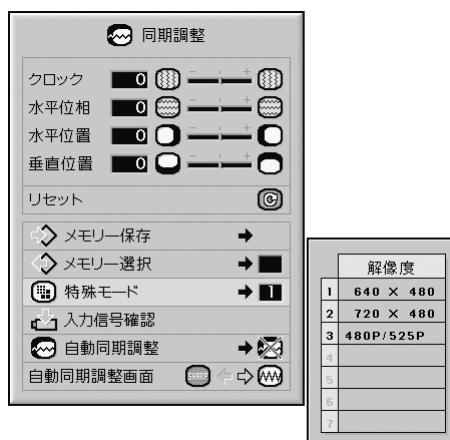
入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を呼び出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。

入力信号に合わせた解像度を選ぶ（特殊モード設定）

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

メモ

- コンピュータの1ラインおきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させると、チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号の情報を確認する（入力信号確認）」（70ページ）をご覧ください。

入力信号の情報を確認する
（入力信号確認）

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

解像度	1024 × 768
水平周波数	48.4 kHz
垂直周波数	60 Hz

メモ

- DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数と総走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示（有効走査線数／総走査線数）
525I	480I／525I
525P	480P／525P
750P	720P／750P
1125I	1080I／1125I

コンピュータの画面を自動調整する
（自動同期調整機能）

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

自動同期調整機能の詳細

選択項目	内　容
OFF	自動同期調整を行いません。
標準	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
高速	「標準」は「高速」に比べて、正確に同期調整を行います。そのため、同期調整の時間が若干長くかかります。

メモ

- 自動同期調整は本体の AUTO SYNC またはリモコンの AUTO SYNC を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整（68ページ）を行ってください。
- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき AUTO SYNC を押すと、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押すと、標準モードで自動調整を行います。

自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「同期調整」メニュー画面例

自動同期調整画面の詳細

選択項目	内　　容
—	無信号時画面で設定されている画面が投映されます。（77ページ参照）
（アイコン）	調整中のコンピュータ画面が表示されます。

便利な機能

出力した音声を調整・設定する(音声調整メニュー)

音声を調整することができます。

音声を調整する

お好みの音声に調整することができます。

操作方法➡58ページ参照

「音声調整」メニュー画面例

調整項目の詳細

選択項目	◀ボタン	▶ボタン
バランス	左側のスピーカーからの音量が大きくなる。	右側のスピーカーからの音量が大きくなる。
高音	高音が弱くなる。	高音が強くなる。
低音	低音が弱くなる。	低音が強くなる。

メモ

• 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び ENTER を押します。

音声出力を設定する(音声出力設定)

AUDIO OUTPUT(音声出力)端子から出力される音声レベルを固定するか、VOLUME(音声)に連動して可変させるかを設定します。

操作方法➡60ページ参照

「音声調整」メニュー画面例

音声出力機能の詳細

選択項目	内　容
音声出力固定	入力された音声信号をそのまま出力します。
音声出力可変	本機の音量調整に連動して、出力される音声信号が可変します。

お知らせ

• 音声出力を「音声出力可変」に設定したときは、本機の音量を最小にしてから、電源の入／切、入力切換を行ってください。

メモ

オーディオ機器と接続したとき

• オーディオ機器と本体を接続したときは、音声出力固定にすることをおすすめします。音声信号をそのまま出力しますので、より良い音質で楽しむことができます。
• 音声出力固定を選択したときは、音声と映像が多少ずれる場合があります。
  - ディレイタイム設定機能のあるオーディオ機器と接続したときは、最適になるようにディレイタイムを設定してください。
  - ディレイタイム設定機能のないオーディオ機器などに接続したとき、映像と音声のずれが気になる場合は、音声出力可変に設定してください。映像と音声のずれを自動補正します。

内蔵スピーカーのオン／オフを設定する（スピーカー設定）

外部アンプと本機を接続した場合など、内蔵スピーカーの音声をオンにするか、オフにするかを設定します。

操作方法➡58ページ参照

「音声調整」メニュー画面例

スピーカー設定の詳細

選択項目	内　　容
ON	内蔵スピーカーから音声が出ます。
OFF	内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)

「オプション(1)」メニュー画面を使ってさまざまな設定を行うことができます。

2つの画像を表示する(P in P)

同一の画面に2つの画像を表示することができます。入力1、2あるいは3から入力された画像の中に、入力4あるいは5から入力された画像を子画面として表示します。

操作方法➡58ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

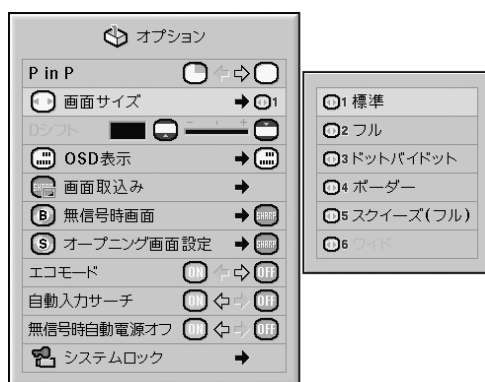
メモ

- 子画面の映像は本体の INPUT 4,5 、またはリモコンの INPUT4 、INPUT5 で切り換えることができます。
- 子画面の位置は、本体またはリモコンの▲/▼/◀/▶で移動できます。
(子画面表示枠が表示されますので、子画面を表示させたい位置まで枠を移動し、本体の ENTER またはリモコンの ENTER を押してください。)
- 子画面用の信号は、NTSC/PAL/SECAMのコンポジット信号とS映像信号です。
- 子画面の音声はプロジェクターのスピーカーから出力されます。
- ピクチャーインピクチャー機能が働いている間は、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。
- 親画面に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は働きません。
  - 入力信号がUXGA、SXGA、SXGA+、WXGAの場合
  - 入力信号が525I、525P、540P、576I、576P、750P、1125I、1035Iの場合
  - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
  - 画面サイズがドットバイドットの場合
  - INPUT(入力)1〜3の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更された場合

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える(画面サイズ設定)

入力された信号の種類に合わせて、画面サイズを切り換えることができます。

操作方法➡60ページ参照

入力1 (RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

画面サイズの選択項目

コンピュータ信号入力時	DTV/ビデオ信号入力時
標準	ズーム
フル	フル
ドットバイドット	標準
ボーダー	スクイーズ(フル)
スクイーズ(フル)	ワイド

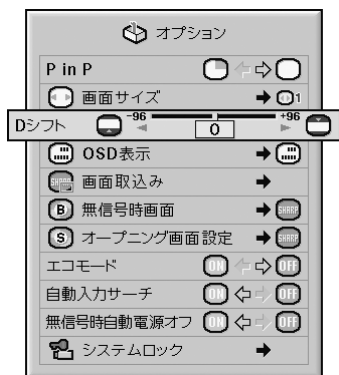
メモ

- 画面サイズについて詳しくは、50〜51ページをご覧ください。
- 画面サイズはリモコンの RESIZE でも設定できます。(50ページ)

映像を上下にシフトする
（デジタルシフト）

映像全体を上下にシフトすることができます。DVDやデジタルテレビからの映像（16：9）を投映するときに便利です。

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

デジタルシフトの詳細

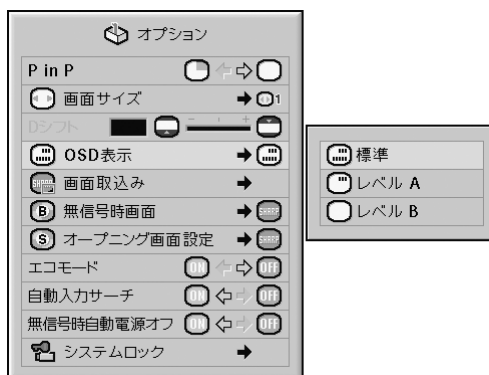
◀ボタン	▶ボタン
映像の位置が下がります。	映像の位置が上がります。

- デジタルシフト機能は、DVDやビデオなどの映像信号を「標準」、「ボーダー」、「スクイーズ（フル）」、「ワイド」モードで表示しているときに働きます。（51ページ）

画面に表示されている情報を消す
（OSD表示）

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

OSD表示の詳細

選択項目	内　容
標準	画面表示のすべてが表示されます。
レベルA	入力モード表示、音量表示、ミュート表示、ブラックスクリーン表示、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。
レベルB	メニュー、H&Vレンズシフト、キーストーン、フォーカス、ズーム、「キーロック中です。」および警告用メッセージ以外は表示されません。

- 「キーロックレベル」が「レベルA」または「レベルB」に設定されている状態で STANDBY が押された場合は、「OSD表示」の設定にかかわらず「キーロック中です。」が表示されます。

便利な機能

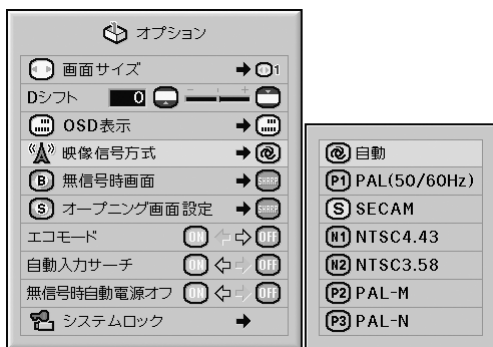
本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)(つづき)

INPUT(入力)4/5端子に接続した機器の映像信号方式を設定する

(映像信号方式設定)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

操作方法➡60ページ参照

入力4(ビデオ)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

映像信号方式設定の詳細

選択項目	内　　容
PAL (50/60 Hz)	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

メモ

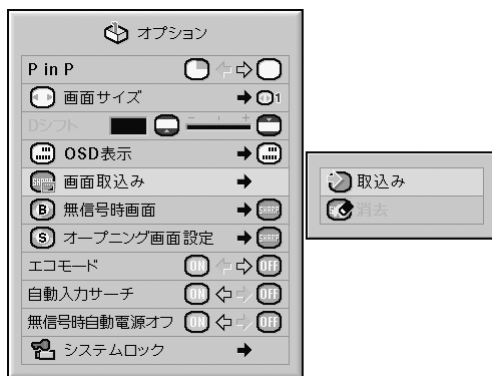
- 映像信号方式は、INPUT(入力)1~3モードでは設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、PAL-M/PAL-N信号が入力されても、PAL表示になります。

投映画像を取り込む

(カスタムイメージキャプチャ)

INPUT(入力)1、2または3に接続した機器の投映画像(RGB信号)を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。

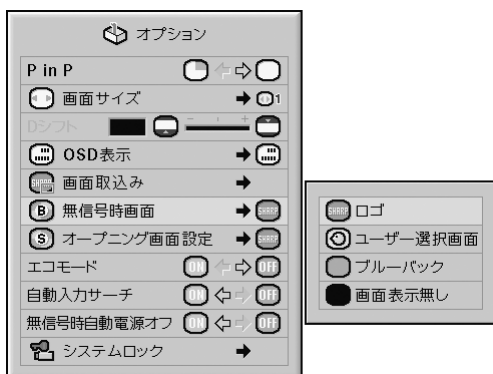
操作方法➡60ページ参照

入力1(RGB)モードの「オプション(1)」メニュー画面例

メモ

- 取り込める画像は、INPUT(入力)1、2または3モードのXGA(1028×768)ノンインターレース信号で、「画面サイズ」が「標準」の時だけです。
- 取り込んだ画像は256色に減色処理されます。
- INPUT(入力)4、5に接続した機器の画像は取り込めません。
- 取り込める画像は1枚だけです。
- カラーマネージメント機能を使って調整された画像を取り込むと、保存の前と後で画像の色が変わることがあります。
- 取り込んだ画像を消去するときは、サブメニュー「消去」を選び、ENTERを押してください。

無信号時に投映する画面を設定する（無信号時画面設定）

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

無信号時画面設定の詳細

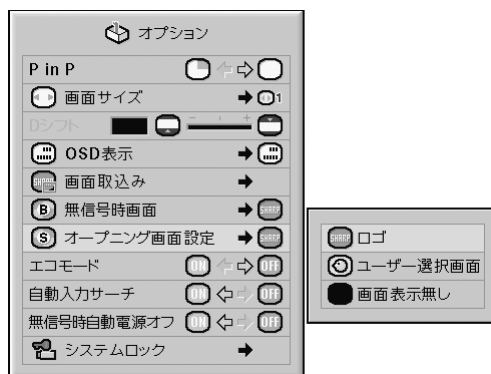
選択項目	内　容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 （例:会社のシンボルマークなど）
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面

メモ

- 「画面取込み」で取り込んだ画像を設定できます。
- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。

オープニング時に投映する画面を設定する（オープニング画面設定）

操作方法➡60ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

オープニング画面設定の詳細

選択項目	内　容
ロゴ	ロゴ画面
ユーザー選択画面	ユーザー設定画面 （例:会社のシンボルマークなど）
画面表示無し	黒い画面

メモ

- 「画面取込み」で取り込んだ画像を設定できます。
- 「ユーザー選択画面」を選ぶと、「画面取込み」で取り込んだ画像をオープニング画面として表示できます。

つづく

消費電力を低減する
（エコモード設定）

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

エコモード設定の詳細

選択項目	輝度	消費電力（AC100Vのとき）	ランプ寿命
ON	約86%	570W	約2,500時間
OFF	100%	650W	約2,000時間

- 「ON」を選択すると、「OFF」と比べて、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。（投映画面の輝度も約14%低減します。）

入力信号を自動的に検出する
（自動入力サーチ）

操作方法➡58ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

自動入力サーチ設定の詳細

選択項目	内　容
ON	入力されている信号を自動的に検出し、画像を表示します。
OFF	自動入力サーチを行いません。

- 「自動入力サーチ」の実行中に本体やリモコンのボタンを押すと、サーチを中止します。サーチ動作が完全に終わってから、目的の操作ボタンを押してください。

無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする
（無信号時自動電源オフ機能）

操作方法➡ 58ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

無信号時自動電源オフ設定の詳細

選択項目	内　容
ON	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
OFF	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

- 無信号時自動電源オフ機能が「ON」に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定）

システムロックとは、キーコード（暗証ボタン）を設定することにより、本機を不正に使用できないようにするための機能です。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。**設定したキーコードは必ずメモしてください。**

お知らせ
- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター（106ページ）にご相談ください。

操作方法➡ 60ページ参照

入力1（RGB）モードの「オプション（1）」メニュー画面例

旧コード	- - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

キーコードを設定する

1 「オプション（1）」メニューの「システムロック」を選び、▶を押す
- メッセージが表示されます。
- メッセージをお読みになり、(ENTER)を押してください。

2 本体またはリモコンのボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する
- はじめて設定するときは、本体の▼ボタンを4回押してください。

旧コード	■ - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

つづく

本機を楽しむための設定をする(オプション(1)メニュー)(つづき)

メモ
- 誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力行のはじめに戻ります。
- 本機はあらかじめ本体の▼ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▼ボタン4つは、電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させないようにするキーコードです。

3 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

メモ
- 次のボタンはキーコードとして設定することができません。
  - ON(電源入)ボタン
  - STANDBY(スタンバイ)ボタン
  - ENTER(決定)ボタン
  - L-CLICK(左クリック)ボタン
  - R-CLICK/UNDO(右クリック/戻す)ボタン
  - MENU(メニュー)ボタン
  - ZOOM(ズーム)ボタン
  - FOCUS(フォーカス)ボタン
  - H&V LENS SHIFT(縦横レンズシフト)ボタン
- **リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、本体のボタンを押します。リモコンのボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンのボタンを押します。**

4 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させたくないとき
- 手順2と3で本体の▼を4回押してください。

システムロックが設定されているとき
- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れた後にキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する

旧コード	■ - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

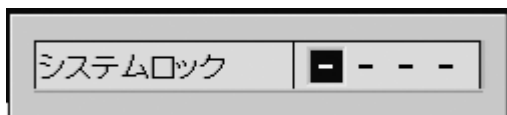
1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

システムロックを設定したとき

システムロックを設定したときは、キーコードを入力し、以下の手順で解除する

▼キーコード入力画面

メモ

- システムロックを設定したときは、電源を入れた後、キーコード入力画面が表示されます。
- キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

1 **リモコンの ON または本体の ON を押して、電源を入れる**

2 **キーコード入力画面が表示されたら、設定したキーコードを入力する**

メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。

設置時に設定しておくと便利な機能（オプション(2)メニュー）

「オプション(2)」メニューを有効にするためにパスワードを設定する(パスワード設定)

- パスワードは、「オプション（2）」メニューを有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワードが未設定の状態のため、「オプション（2）」メニューは操作できるようになっています。
- 「オプション（2）」メニューを他の人に操作されたくないときは、パスワードの設定をしてください。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

旧パスワード	- - - -
新パスワード	■ - - -
確認	- - - -

1 **「オプション（2）」メニューの「パスワード」を選び、▶を押す**

- パスワード入力画面になります。

2 **▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選択し▶を押す**

3 **同様に残りの3桁を入力し ENTER を押す**

4 **確認欄にもう一度同じ数字を入力し、ENTER を押す**

お知らせ

- 「オプション（2）」メニューを使うときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

パスワードを変更する

旧パスワード	■ - - -
新パスワード	- - - -
確認	- - - -

1 **▼、▲または▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTER を押す**

2 **新しいパスワードを▼、▲または▶を使って入力し、ENTER を押す**

3 **確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、ENTER を押す**

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順**2**と手順**3**でパスワードを入力しないで ENTER を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、UNDO を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除した後、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン

ON → ENTER → ON → ENTER → ON → ENTER → MENU

を順に押す

ランプ使用時間を確認する
（ランプ時間(残率)）

ランプの使用時間と残率が表示されます。

操作方法➡58ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

ランプ時間（残率）の詳細

ランプ使用条件	ランプ使用可能時間	
	100%	5%
常に「エコモード」を「ON」にして使用	約2,500時間	約125時間
常に「エコモード」を「OFF」にして使用	約2,000時間	約100時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 上の表は、「エコモード」が「ON」または「OFF」、それぞれのモードのみで継続使用した場合を例に記載しています。
- 本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

ランプモードを設定する
（ランプモード設定）

プロジェクターには2つのランプが搭載されています。これら2つのランプの使いかたを選ぶことができます。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

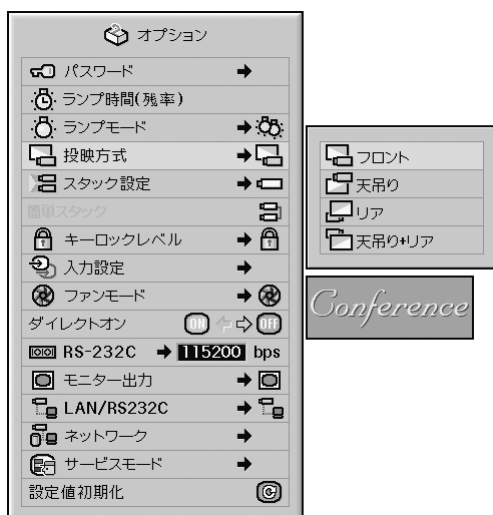
ランプモードの詳細

選択項目	内　容
両ランプ使用	両方のランプを同時に使うことで、より明るい投映にします。
ランプ1のみ使用	ランプ1のみを使います。 ランプ1が切れたら、自動でランプ2に切り換えます。
ランプ2のみ使用	ランプ2のみを使います。 ランプ2が切れたら、ランプ1に自動で切り換えます。
両ランプ均等使用	両ランプを一定間隔で交互に一灯ずつ使います。

投映環境に合わせた投映方式を選択する（投映方式設定）

本機は投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

投映方式設定の詳細

選択項目	内　　容
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像

メモ

- この機能はプロジェクターをスクリーンの後ろから投映したり、天井に取り付けて投映する場合に設定します。（25ページ）

複数のプロジェクターを一括制御する（スタック設定）

スタック投映やビデオウォール投映をするときに、1つのリモコンで複数のプロジェクターを一括コントロールすることができます。この機能を使用するときは、複数のプロジェクターをLANケーブルで接続し、1台をマスター（親機）、その他をスレーブ（子機）として割り当てます。LANケーブルの接続については37ページをご覧ください。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

スタック設定の詳細

選択項目	内　　容
標準	スタック設定を行いません。
マスター	マスター（親機）として設定します。
スレーブ	スレーブ（子機）として設定します。

メモ

- 複数のプロジェクターを一括コントロールするときは、上記の設定のほかにWebブラウザ経由での設定が必要です。設定や接続方法の詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。
- 2台のみのプロジェクターを一括コントロールするときは、「簡単スタック」を使用することにより、Webブラウザ経由での設定が不要になります。（85ページ）
- スレーブ側に設定したプロジェクターはリモコンで操作できません。リモコン操作したいときは、ワイヤード接続で操作してください。（20ページ）

2 台のプロジェクターでスタック投映するための設定を簡単に行う（簡単スタック設定）

スタック投映を行うとき、通常はWebブラウザ経由でネットワークを設定する必要があります。2台のプロジェクターでスタック投映するときのみ、Webブラウザを利用せずに簡単に設定することができます。

操作方法➡ 58ページ参照

• 「スタック設定」で「マスター」または「スレーブ」をあらかじめ設定してください。

「オプション（2）」メニュー画面例

「オプション（2）」メニューの「簡単スタック」を選び、ENTER を押す

• 確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択し、ENTER を押す

• プロジェクターのネットワーク設定が以下のように変更されます。

	マスター	スレーブ
IP アドレス	192.168.150.2	192.168.150.3
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
DHCP クライアント	OFF	OFF
ゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0
ユーザー名	(クリアされます)	(クリアされます)
パスワード	(クリアされます)	(クリアされます)
データポート	10002	10002

プロジェクターの操作ボタンをロックする（キーロック）

本体のボタンをロックすることができます。

操作方法➡ 60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

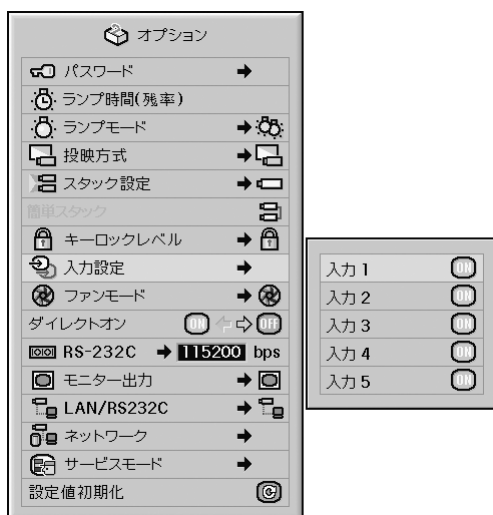
キーロックの詳細

選択項目	内　　容
標準	すべてのボタンが機能します。
レベルA	入力切換、音量以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

便利な機能

使わない入力モードをスキップする（入力設定）

使わない入力モードを選択できないように設定することで、本体のINPUT（入力切換）1、2、3ボタンまたはINPUT（入力切換）4、5ボタンを押したときに、その入力モードをスキップすることができます。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

入力設定の詳細

選択項目		内　容
入力1～5	ON	入力1～5の選択を有効にします。
	OFF	入力1～5の選択を無効にします。

ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

ファンモードの詳細

選択項目	内　容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

メモ

- 「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

ダイレクトオン機能

電源コードをコンセントに差し込む、ブレーカーをONにするなど、通電させたときに、自動的に本機の電源を入れることができます。

操作方法➡58ページ参照

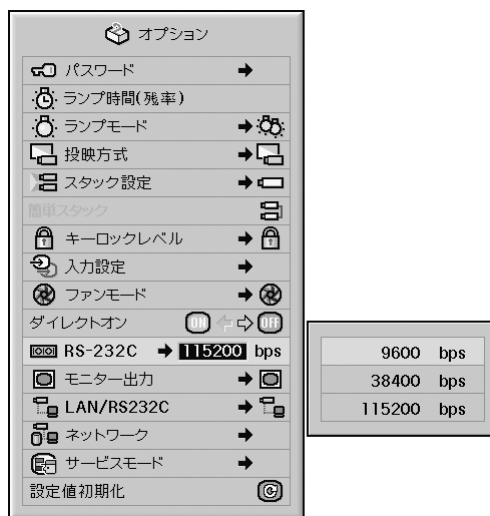
「オプション（2）」メニュー画面例

ダイレクトオンの詳細

選択項目	内　　容
ON	電源コードをコンセントに差し込んだとき、あるいはブレーカーを入れたとき、プロジェクターが自動的に起動します。
OFF	プロジェクターの起動は手動になります（39ページ参照）。コンセントに電源コードを差し込んだりブレーカーを入れたりしても、プロジェクターが自動的に起動することはありません。

RS-232Cの通信速度を設定する
（RS-232C設定）

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

RS-232Cの詳細

選択項目	内　　容
9600bps	通信速度が遅い
38400bps	↕
115200bps	通信速度が速い

メモ

- 詳細については、同梱のCD-ROMに収録の「セットアップ説明書」をご覧ください。
- コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

電源が待機状態時の消費電力をおさえる(モニター出力設定)

モニター出力が「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもモニター出力が働き、電力を消費します。モニターを接続していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法➡60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例

モニター出力の詳細

選択項目	内　容
使用する	電源が待機状態時でも、モニター出力機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、モニター出力機能をオフにします。

電源が待機状態時の消費電力をおさえる(LAN/RS232C設定)

LAN/RS232Cが「使用する」に設定されていると、電源が待機状態でもLAN/RS232C機能が働き、電力を消費します。LAN/RS-232Cを使用していないときは「使用しない」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

操作方法➡60ページ参照

「オプション(2)」メニュー画面例

LAN/RS232Cの詳細

選択項目	内　容
使用する	電源が待機状態時でも、LAN/RS232C機能が働きます。
使用しない	電源が待機状態時には、LAN/RS232C機能をオフにします。

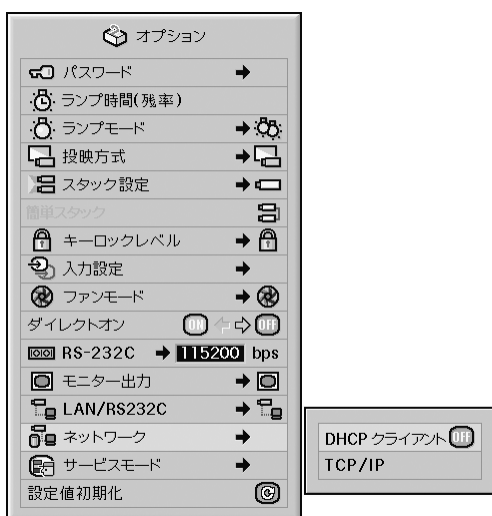
メモ

- LAN/RS232Cで本機を制御する場合には、「使用する」に設定してください。
- 「LAN/RS232C」設定は、「スタック設定」(84ページ)が「標準」のときに設定できる項目です。(「スタック設定」が「マスター」または「スレーブ」に設定されているときは、「使用する」に設定されます。)

DHCPクライアント設定

プロジェクターの電源を入れる前にLANケーブルを接続しないと、この機能は働きません。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

DHCPクライアントの詳細

選択項目	内　容
ON	TCP/IPネットワークの設定パラメータを自動的に取得します。
OFF	TCP/IPを手動で設定します。

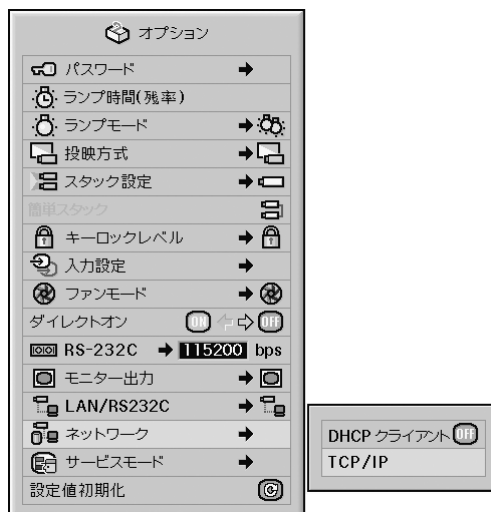
メモ

- 「DHCPクライアント」を「ON」にすると、「IPアドレス取得中」というメッセージが表示され、続いて「ネットワークの設定を変更しました。」のメッセージとIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを表示します。
- DHCPサーバーと接続できなかったときは、「IPアドレスを取得できませんでした。」というメッセージが表示されます。この場合、手動でTCP/IP設定を行ってください（次の項目「TCP/IP設定」を参照）。

TCP/IP設定

TCP/IPを手動で設定します。

操作方法➡60ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

1 **「TCP/IP」を選択し、ENTER を押す**

2 **▲、または▼、◀、▶を使って「IPアドレス」を入力し、ENTER を押す**

TCP/IP

IPアドレス	192.168.150.002
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	000.000.000.000

3 **▲、または▼、◀、▶を使って「サブネットマスク」を入力し、ENTER を押す**

つづく

4 ▲、または▼、◀、▶を使って「ゲートウェイ」を入力し、ENTER を押す

TCP/IPの詳細

選択項目	内　容
IPアドレス	出荷設定値: 192.168.150.002 ネットワークに適したIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	出荷設定値: 255.255.255.000 コンピュータやネットワーク上の機器と同じサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	出荷設定値: 000.000.000.000 * 使用しない場合は「000.000.000.000」に設定してください。

メモ

- TCP/IPを設定する前に、「DHCPクライアント」を「OFF」にしてください。
- 使用しているネットワークのセグメント(IPアドレスのグループ)をご確認の上、他のネットワーク機器やコンピュータのIPアドレスと重複しないように設定してください。IPアドレス「192.168.150.XXX」のネットワークにて、「192.168.150.2」が未使用の場合は、本機のIPアドレスを変更する必要はありません。
- 各設定値について詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

プロジェクター修理時に使う設定(サービスモード)

サービスモードは、サービスマンまたは設置業者が使用するメニューです。お客様は、選択しないでください。

「オプション(2)」メニュー画面例

設定値を工場出荷状態に戻す

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。

操作方法➡58ページ参照

「オプション（2）」メニュー画面例

メモ

ネットワーク設定について

「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、その他のネットワーク設定項目も初期化されます。

次の項目は初期化されません。

- **「C.M.S.」（カラーマネージメント）メニュー**
  - 「C.M.S.」メニューのユーザー設定1〜3に個別に保存された「明度」、「彩度」、「色相」
- **「同期調整」メニュー**
  - 特殊モード
- **「オプション（1）」メニュー**
  - システムロック
- **「オプション（2）」メニュー**
  - ランプ時間（残率）
- **「言語選択」メニュー**
- **画像取り込みした画像**

その他の機能（言語選択メニュー／一覧メニュー）

画面に表示する言語を選択する（言語選択）

本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

操作作方法➡60ページ参照

「言語選択」メニュー画面例

調整内容を一覧で確認する（一覧）

調整した設定内容すべてを一覧で確認することができます。

操作方法➡58ページ参照

「一覧」メニュー画面例

映像調整 / 音声調整		同期調整	オプション / その他		
映像モード	色温度 7500	クロック 0	画面サイズ	ランプ 1 0h（100%）	RS-232C 115200bps
コントラスト 0	プログレッシブ	水平位相 0	Dシフト	ランプ 2 0h（100%）	プロジェクター
明るさ 0	カラー設定	水平位置 0	OSD表示	ランプモード	DHCP クライアント
色の濃さ 0	DNR	垂直位置 0	無信号時画面	投映方式	IPアドレス 192.168.150.2
色あい 0	入力信号タイプ	メモリー選択	オープニング画面設定	スタック設定	サブネットマスク 255.255.255.0
画質	バランス 0	特殊モード 1	エコモード	キーロックレベル	ゲートウェイ 0.0.0.0
赤 0	高音 0	自動同期調整	自動入力サーチ	入力設定 1,2,3,4,5	MACアドレス
緑 0	低音 0	自動同期調整画面	無信号時自動電源オフ	ファンモード	ファームウェア1 1.00
青 0	音声出力		ダイレクトオン	モニター出力	ファームウェア2 1.00
白伸長 + 10	スピーカー			LAN/RS232C	シリアルNo.

PDF取扱説明書の見かた（Windows®, Macintosh®）

本機に付属のCD-ROMの中には、PDF取扱説明書が収録されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAdobe® Reader®が必要です。お持ちのコンピュータ（Windows®やMacintosh®コンピュータ）にAdobe® Reader®がインストールされていない場合は、インターネット（http://www.adobe.co.jp）からAdobe® Reader®をダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windowsコンピュータの場合

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

② “マイコンピュータ” アイコンをダブルクリックする。

③ “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。

④ **プロジェクターの取扱説明書を見たいときは**

1）“MANUALS” フォルダをダブルクリックする。

2）“JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3）“PH70_” PDFファイルをダブルクリックする。

セットアップ説明書を見たいときは

1）“SETUP” フォルダをダブルクリックする。

2）“JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3）“S_PH7_” PDFファイルをダブルクリックする。

Macintoshコンピュータの場合

① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

② “CD-ROM” ドライブをダブルクリックする。

③ **プロジェクターの取扱説明書を見たいときは**

1）“MANUALS” フォルダをダブルクリックする。

2）“JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3）“PH70_” PDFファイルをダブルクリックする。

セットアップ説明書を見たいときは

1）“SETUP” フォルダをダブルクリックする。

2）“JAPANESE” フォルダをダブルクリックする。

3）“S_PH7_” PDFファイルをダブルクリックする。

お知らせ

- マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Adobe Readerをまず起動させてから、“ファイル”“開く” メニューを使ってPDFファイルを開いてください。

セットアップ説明書（PDFファイル）のもくじ

セットアップ説明書はCD-ROMに入っています。

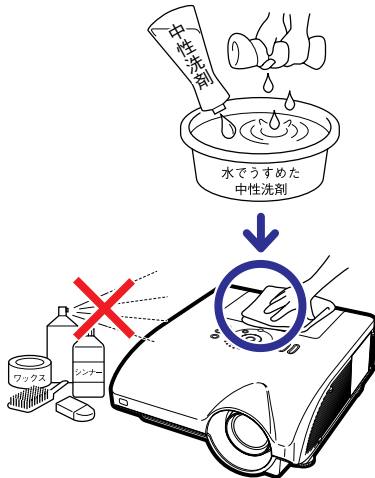
付録

お手入れのしかた

キャビネットのお手入れのしかた

■ キャビネットをお手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■ キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

■ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

■ 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズのお手入れのしかた

■ レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

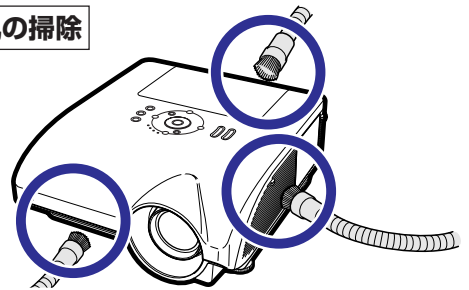
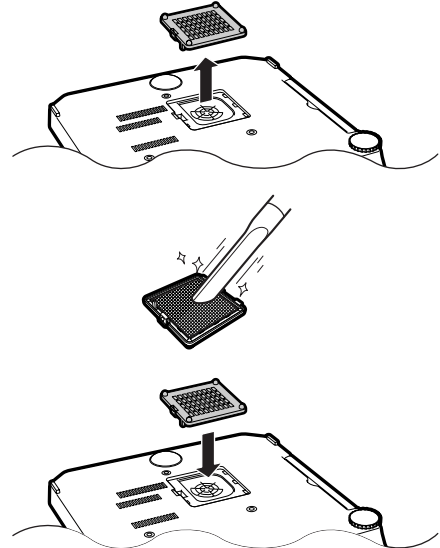
■ 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。

通風孔や吸気孔カバーのお手入れのしかた

■ 排気孔や吸気孔、吸気孔カバー（底面）の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

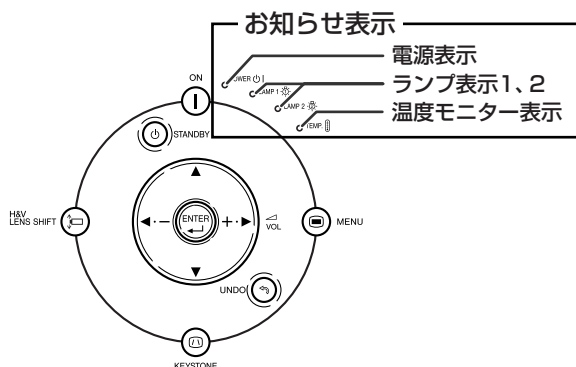
お知らせ

• プロジェクターの動作中に通風孔や吸気孔カバーの掃除を行う場合は、本体の STANDBY またはリモコンの STANDBY を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まってから、電源プラグを本機から抜いて行ってください。

通風孔の掃除

吸気孔カバーの掃除

メモ

• 吸気孔カバーは、約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
• 吸気孔カバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。（電源表示が赤で点滅します。）

お知らせ表示について

■本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
■内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターもしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、90秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で**96**ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

ランプを交換してください。(LAMP 1)

ランプ2の場合は、「ランプを交換してください。(ランプ 2)」のメッセージが表示されます。

■ ランプ残率が5%以下になると、「(黄色)」と「ランプを交換してください。(ランプ 1/2)」が画面に表示されます。
■ ランプ残率が0%になると、「(赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、ランプ表示が赤色点灯します。
ランプを交換せずに電源を入れ直すと、**4回目からは残率が0%になったランプは点灯しなくなります**のでご注意ください。

お知らせ表示について（つづき）

お知らせ表示			現　　象	考えられる原因	処置のしかた
	正　常	異　常			
温度モニター表示	消　灯	赤色点灯 待機状態	内部温度が高温になっている	●通風孔がふさがれている	●正しい設置場所に設置してください。（13ページ）
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部通風孔の目づまり ●吸気孔カバーの目づまり	●販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（106ページ）に修理を依頼してください。 ●排気孔や吸気孔、吸気孔カバーのお手入れをしてください。（94ページ）
ランプ表示 1、2	緑色点灯 （緑色点滅は光源起動中）	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しない	——	●電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	●ランプ残率が5%以下になった	●ランプを交換してください。（98ページ） ●ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（106ページ）にお問い合わせください。 ●ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		赤色点灯 待機状態	ランプ（光源）が点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	●吸気孔カバーが外れている（確実に取り付けられていない）	●吸気孔カバーをしっかりと取り付けてください。 ●吸気孔カバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口（106ページ）にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、温度モニター表示が点灯します。排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認（13ページ）し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。

ランプを交換する

ランプについて

■ 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプユニット（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプユニットと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（83ページ参照）

■ ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモードON：ランプ残率約60% / エコモードOFF：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■ 別売のランプユニット1（形名：AN-PH7LP1）やランプユニット2（形名：AN-PH7LP2）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

⚠ **警告**

• ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。

ランプ使用上のご注意

■ プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■ 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

■ 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠ **警告**

• 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

ランプ交換時のご注意

⚠ **警告**

• ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
• ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。
*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

ランプを交換する(つづき)

ランプ交換のしかた

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ケガやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。(銀色のネジ以外はゆるめないでください。)

1 本体の またはリモコンの STANDBY を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

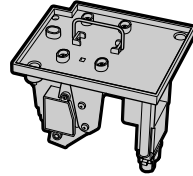
警告

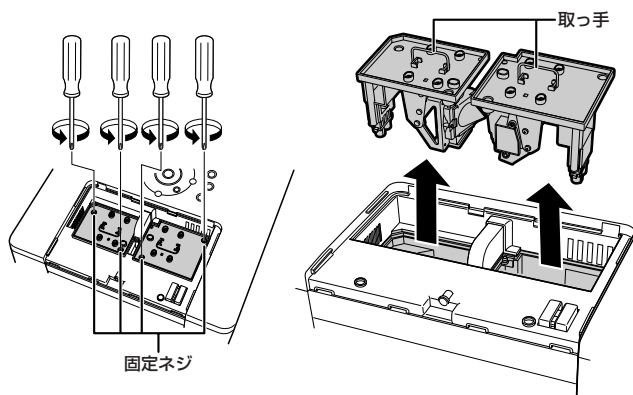
- ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

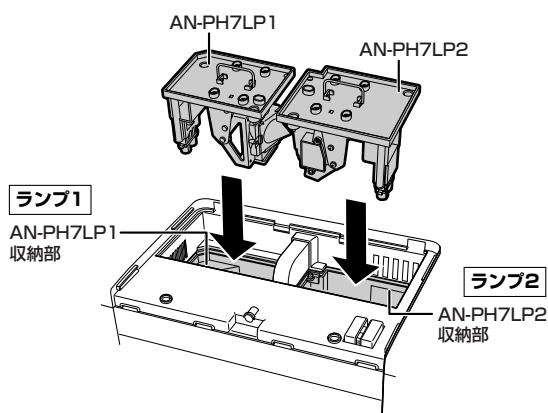
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- **ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。**

3 ランプユニットカバーを取り外す

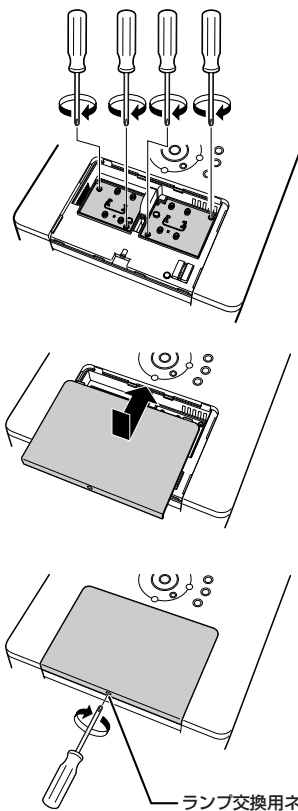
- ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。矢印の方向にスライドさせてランプユニットカバーを取り外します(②)。

4 ランプユニットを取り外す

- ランプユニットの固定ネジ（それぞれ2ヶ所）をゆるめ、取っ手をつかんでランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

5 新しいランプユニットを挿入する

- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。
- ランプユニットを交換するときは、AN-PH7LP1、AN-PH7LP2、それぞれの収納部に合ったランプユニットを使用してください。

6 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーを本体に合わせてからスライドさせランプユニットカバーを取り付けます。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。

 お知らせ

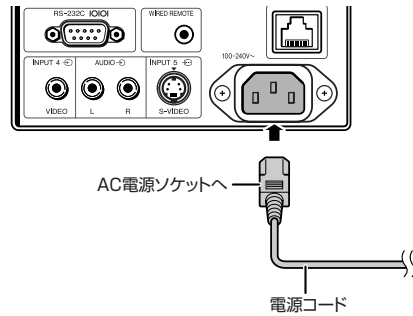
- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ランプを交換する（つづき）

ランプ使用時間をリセットする

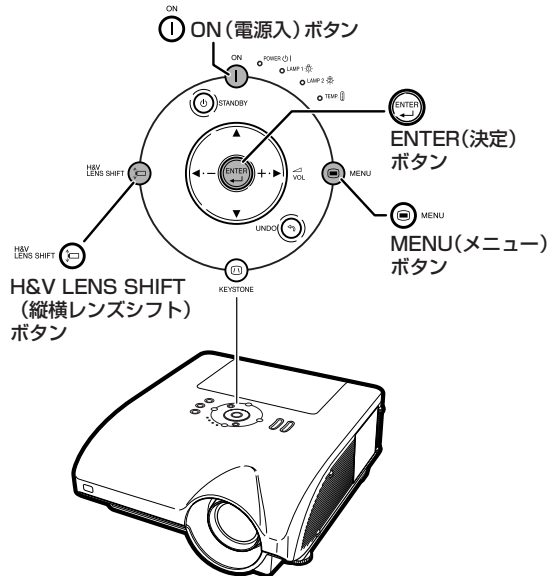
ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ
- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

- 電源コードをプロジェクターのＡＣ電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間をリセットする

ランプ1
- AN-PH7LP1側をリセットするときは、本体の H&V LENS SHIFT と ENTER を同時に押しながら、ON を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP1 100%」が表示されます。

ランプ2
- AN-PH7LP2側をリセットするときは、本体の MENU と ENTER を同時に押しながら、ON を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP2 100%」が表示されます。

RGB入力信号（推奨信号）一覧表

下表は本機が対応している信号モード一覧です。映像が乱れる、映らない等の問題がある場合は、下表を参考にコンピュータなどの出力信号を調整してください。

コンピュータ

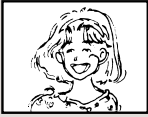
- 幅広い信号に対応
  水平周波数：15kHz～126kHz
  垂直周波数：43Hz～200Hz
  ドットクロック：12MHz～230MHz
  同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。
- 高品位圧縮表示により、UXGA、SXGA+ 、SXGAに対応。
- AICSリサイズ技術（高品位圧縮表示／拡大表示技術）採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
		640 × 400	27.0	60		✓	
			31.5	70		✓	
			37.9	85	✓	✓	
		720 × 400	27.0	60		✓	
			31.5	70		✓	
			37.9	85	✓	✓	
		640 × 480	26.2	50			
			31.5	60		✓	
			34.7	70			
			37.9	72	✓	✓	
			37.5	75	✓	✓	
			43.3	85	✓	✓	
			47.9	90			
			53.0	100			
			61.8	120			
			78.5	150			
			80.9	160			
			100.4	200			
	SVGA	800 × 600	31.4	50			
			35.1	56	✓	✓	
			37.9	60	✓	✓	
			44.5	70			
			48.1	72	✓	✓	
			46.9	75	✓	✓	
			53.7	85	✓	✓	
			56.8	90			
			64.0	100			
			77.2	120			
			98.3	150			
			102.1	160			
			125.6	200			
	XGA	1,024 × 768	35.5	43		✓	リアル表示
			40.3	50			
			48.4	60	✓	✓	
			56.5	70	✓	✓	
			58.1	72			
			60.0	75	✓	✓	
			68.7	85	✓	✓	
			73.5	90			
			77.2	96			
			80.6	100			
			98.8	120			
			113.2	140			

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ
PC	WXGA	1,280 × 720	45.0	60	✓	✓	高品位圧縮表示
		1,280 × 768	47.8	60	✓	✓	
		1,280 × 800	62.7	75			
		1,360 × 768	47.6	60	✓		
		1,366 × 768	47.8	60			
	SXGA	1,152 × 864	54.3	60		✓	
			64.0	70			
			64.1	72			
			67.5	75	✓	✓	
			75.7	80			
			77.3	85			
			90.2	100			
		1,152 × 882	54.8	60			
			65.9	72			
			67.4	74			
		1,280 ×1,024	64.0	60	✓	✓	
			74.6	70			
			78.1	74			
			80.0	75	✓		
			91.1	85	✓		
			108.4	100			
	SXGA+	1,400 ×1,050	64.0	60	✓	✓	
	UXGA	1,600 ×1,200	74.7	52			
			75.0	60	✓		
			81.3	65	✓		圧縮表示
			87.5	70	✓		
			90.1	72			
			93.8	75	✓		
			106.3	85	✓		
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.6	75			
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60			リアル表示
			60.0	75			
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.5	75			高品位圧縮表示
HP (WS)	SXGA	1,280 ×1,024	78.1	72			
PC (WS)		1,280 × 960	60.0	60	✓		
WS			85.9	85			
SUN (WS)		1,152 × 900	60.9	66			
			71.9	76			

付録

RGB入力信号(推奨信号)一覧表(つづき)

メモ

- ノート型コンピュータによっては、同時(CRT/LCD)モードで映像を表示できない場合や表示された映像にノイズが発生する場合があります。この場合は、ノート型コンピュータの画面表示をオフにしてください。詳しくはお使いのノート型コンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- RGB形式のインターレース映像信号を本機のINPUT(入力)1または2に入力して投映するとき、「入力信号タイプ」を「自動」または「RGB」に設定していると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

DTV

入力信号(有効走査線数)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	DVIサポート信号 (HDCP対応)
480I/525I	15.7	60	
480P/525P	31.5	60	✓
540P	33.8	60	
576I/625I	15.6	50	
576P/625P	31.3	50	✓
720P/750P	45.0	60	✓
720P/750P	37.5	50	✓
1035I/1125I	33.8	60	✓
1080I/1125I	33.8	60	✓
1080I/1125I	28.1	50	✓

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	39
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	47
	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29〜38
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	19
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	29
音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29〜38
	●映像調整の「明るさ」が「－(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	62
	●ブラックスクリーン画面になっていませんか。	52
色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	62
	〈入力1／入力2／入力3のとき〉 ●入力信号タイプのRGB/色差（コンポーネント）が正しく設定されていますか。 〈入力4／入力5のとき〉 ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	65 76
映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	42
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	24
	●レンズが結露していませんか。寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源コードをコンセントから抜いてしばらくそのまま放置してください。	-
	〈コンピュータ入力のとき〉 ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(水平位相調整)を行ってください。 ●ノート型コンピュータの画面表示をオフにしてください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	68 68 102 -
映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。	29〜38
	●音量が最小になっていませんか。	48
	●ミュートの機能が働いていませんか。	48
	●メニューの音声調整項目のスピーカーがOFFになっていませんか。	73
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	95
本体ボタンで電源を入／待機状態にできない	●キーロックが設定されていませんか。 レベルAまたはBに設定されている場合、すべてのボタンまたは特定のボタンが働きません。リモコンで操作してください。	85
プロジェクター本体とリモコンのボタンがすべて使えない	●スタック設定でスレーブに設定し、さらにキーロックレベルをBに設定した場合、プロジェクター本体とリモコンのすべてのボタンは働きません。 リモコンをワイヤード接続して操作してください。	20、84、85

付録

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1／入力2の色差（コンポーネント）モードで画面が緑がかる	● 入力信号タイプが正しく設定されていますか。	65
入力1／入力2／入力3のRGBモードで画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて白っぽくなる	● 映像調整は、正しく調整されていますか。	62
ファンの音が大きくなる	● 内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	13 94〜96
電源を入れてもランプが点灯しない	● ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	95
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	● 接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ● 頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	29〜38 98
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	● ランプは消耗品です。 寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなることがあります。 ランプを交換してください。	98
映像が暗い		
リモコンで操作できない	● リモコンの発信部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか。リモコン受光部に向かって操作してください。 ● プロジェクターから離れすぎていませんか。 ● リモコンの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。	19
	● リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	19

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しないときは、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直してください。

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
    （6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

使い方や修理のご相談など

- 修理·使い方·お手入れ·お買い物などのご相談·ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**シャープお客様ご相談窓口**(106ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（103ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名：マルチメディアプロジェクター
形　　　名：XG-PH70X（標準ズームレンズ付き）
　　　　　　XG-PH70X-N（レンズなし）
お買いあげ日：(年月日)
故障の状況：(できるだけ具体的に)
ご　住　所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前：
電話番号：
ご訪問希望日：

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　　月　　日	電話（　　）　　—

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？

●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

付録

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 ● 月曜～土曜: **9:00～18:00**
● 日曜・祝日: **9:00～17:00**
（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043 - 351 - 1821	FAX：043 - 299 - 8280
西日本相談室	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06 - 6792 - 1582	FAX：06 - 6792 - 5993

修理のご相談など

※「持込修理」「部品購入」「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の補足をご覧ください。

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0570 - 02 - 4649
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間 ● 月曜～土曜: **9:00～20:00**
● 日曜・祝日: **9:00～18:00**
（年末年始を除く）

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:30）	

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

補足　持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間　＊月曜～土曜:**9:00～17:30**（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜:**9:00～17:30**（祝日など弊社休日を除く）

北陸地区
● **金　沢** サービスセンター：076 - 249 - 2434
〒921-8801　石川郡野々市町御経塚4-103

近畿地区
● **京　都** サービスセンター：075 - 672 - 2378
〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
● **大　阪** テクニカルセンター：06 - 6794 - 5611
〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
● **阪　神** サービスセンター：06 - 6422 - 0455
〒661-0981　兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10

中国地区
● **広　島** サービスセンター：082 - 874 - 8149
〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4

四国地区
● **高　松** サービスセンター：087 - 823 - 4901
〒760-0065　高松市朝日町6-2-8

九州地区
● **福　岡** サービスセンター：092 - 572 - 4652
〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1

沖縄・奄美地区
● **那　覇** サービスセンター：098 - 861 - 0866
〒900-0002　那覇市曙2-10-1

北海道地区
● **札　幌** サービスセンター：011 - 641 - 4685
〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17

東北地区
● **仙　台** サービスセンター：022 - 288 - 9142
〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

関東地区
● **宇都宮** サービスセンター：028 - 637 - 1179
〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
● **さいたま** サービスセンター：048 - 666 - 7987
〒331-0812　さいたま市北区宮原町2-107-2
● **東　京** テクニカルセンター：03 - 5692 - 7765
〒114-0013　東京都北区東田端2-13-17
● **多　摩** サービスセンター：042 - 586 - 6059
〒191-0003　日野市日野台5-5-4
● **千　葉** サービスセンター：047 - 368 - 4766
〒270-2231　松戸市稔台295-1
● **横　浜** テクニカルセンター：045 - 753 - 4647
〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23

東海地区
● **静　岡** サービスセンター：0543 - 44 - 5781
〒424-0067　静岡市清水鳥坂1170-1
● **名古屋** サービスセンター：052 - 332 - 2623
〒454-8721　名古屋市中川区山王3-5-5

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.01）

仕様

品名		マルチメディアプロジェクター
形名		XG-PH70X（標準ズームレンズ付き）／XG-PH70X-N（レンズなし）
表示方式		単板DLP®チップ　3倍速カラーホイール色分離方式
パネル	パネルサイズ	0.7 型
	画素数	786,432（横1024×縦768）ドット
標準ズームレンズ（XG-PH70X標準装備）		1.2倍電動ズーム／フォーカスレンズ　F1.8～F2.0　f=25.6mm～31.3mm
ランプ		260W　2個
音声出力		3.0W（ステレオ）
スピーカー		円型 3.3cm　2個
定格電圧		AC100V～240V
定格周波数		50/60Hz
入力電流		6.6A（AC100V時）
消費電力		AC100V時：650W（エコモードがOFFの時）/570W（エコモードがONの時） AC240V時：620W（エコモードがOFFの時）/550W（エコモードがONの時）
消費電力（電源スタンバイ時）		0.8W（AC100V）～1.1W（AC240V）（モニター出力とLAN/RS232Cを使用しない時）
使用温度範囲		5℃～40℃
保管温度範囲		-20℃～+60℃
入力・出力端子	コンピュータRGB/色差（コンポーネント）入力端子（INPUT1/INPUT2）	RGB分離型アナログ信号／色差（コンポーネント）信号　：15ピンミニD-sub端子（INPUT1用） ：5BNC端子（INPUT2用） ：Y1.0Vp-p（75Ω） ：PB0.7Vp-p（75Ω） ：PR0.7Vp-p（75Ω）
	RGBデジタル入力端子（INPUT3）	DVIデジタル信号（HDCP対応）　：DVI端子24ピン
	ビデオ入力端子（INPUT4）	映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負：RCAピン端子
	S映像入力端子（INPUT5）	輝度信号入力：1.0Vp-p、75Ω、同期負：4ピンミニDINコネクター 色信号入力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	音声入力端子（AUDIO）	音声：0.5Vrms、22kΩ以上　：φ3.5ステレオミニジャック端子（INPUT1用、INPUT2/3用） RCAピン端子（INPUT4/5用）
	RGB出力端子（OUTPUT）	RGB分離型アナログ信号／色差（コンポーネント）信号　：15ピンミニD-sub端子（INPUT1/2用） ：Y1.0Vp-p（75Ω） ：PB0.7Vp-p（75Ω） ：PR0.7Vp-p（75Ω）
	音声モニター出力端子（AUDIO OUTPUT）	音声：0.5Vrms、2.2kΩ以下　：φ3.5ステレオミニジャック端子（INPUT1/2/3/4/5用）
RS-232C端子		9ピンD-sub
LAN端子		8ピンRJ-45モジュラコネクター
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅 410mm、奥行 471mm、高さ 180mm（突起部除く）
質量		XG-PH70X：14.9kg／XG-PH70X-N：13.7kg

お願い
- DLP®チップは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

用語集

C.M.S.（カラーマネージメント）（66ページ）
赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色の特性を個別に調整できる機能です。

P in P（ピクチャーインピクチャー）（74ページ）
コンピュータからの画面の上に、ビデオからの入力映像を子画面で表示することができます。

sRGB（66ページ）
IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「カラー設定」を「sRGB」に設定すると、DLPの特性を考慮した色変換を行い、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。

色温度（63ページ）
プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

映像モード（62ページ）
映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。
「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ユーザー設定」から選択できます。

画面サイズ（50ページ）
入力された映像の画質をよくするために、画面サイズを切り換えることができます。「標準」、「フル」、「ドットバイドット」、「ボーダー」、「ズーム」、「スクイーズ（フル）」、「ワイド」から選択できます。

キーストーン補正（43ページ）
プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル補正するための機能です。

キーロック（85ページ）
いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン（キー）操作をロックできます。

クロック（68ページ）
コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

高品位圧縮表示／拡大表示（101ページ）
解像度が低い、または高い映像を投映する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを調整します。

システムロック（79ページ）
プロジェクターに設定されたキーコードを入力しないと、信号を入力しても画像を投映できなくする機能です。

自動同期調整（70ページ）
コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能です。

水平位相（68ページ）
同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

スクイーズ（フル）（50ページ）
16：9のワイド画像を4：3（縦長サイズ）に圧縮したスクイーズ映像を投映するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16：9スクリーンいっぱいに投映するモードです。

スタック設定（84ページ）
複数のプロジェクターから同じ映像を同じスクリーンに投映するための設定です。1台のプロジェクターを親機、その他のプロジェクターを子機として設定することで、一括コントロールができます。

ダイレクトオン（87ページ）
通常の操作で電源を入れるか通電しただけで自動的に電源を入れるかを設定する機能です。

ドットバイドット（50ページ）
映像をもとの解像度で投映するモードです。

標準（50ページ）
コンピュータ入力信号の場合
- 投映比率を維持したまま、4：3スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投映します。

ビデオ入力信号の場合
- 4：3画像を16：9スクリーンの内側いっぱいに投映します。（画面の両端がマスクされます。）

ファンモード（86ページ）
標高の高い場所（標高1500m以上）で使用する場合、気圧の関係で冷却効率が多少悪くなります。そのような場所での使用条件に合わせ、ファンの回転速度を上げ冷却効率を通常に近づけるための機能です。

プログレッシブ（64ページ）
プログレッシブ変換のモードを選択できます。
「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

無信号時画面（77ページ）
信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

レンズシフト（40ページ）
スクリーンの設置場所に合わせて、レンズの投映角度を上下左右に動かし、投映位置を補正することができます。

ワイド（51ページ）
4：3の映像を投映するとき、映像の中心部付近の縦横比を維持しながら、周辺部分だけを引き伸ばして、16：9スクリーンいっぱいに投映するモードです。

索引

使用方法・お買い物相談など

【お客様相談センター】

0120 - 078 - 178

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電　話	ファックス
東日本相談室→	043 - 351 - 1821	043 - 299 - 8280
西日本相談室→	06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993

受付時間　●月曜～土曜:9:00～18:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　（年末年始を除く）

修理のご相談など

【修理相談センター】（沖縄・奄美地区を除く）

0570 - 02 - 4649

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■〈PHS・IP電話やファクシミリをご利用〉または〈沖縄・奄美地区の方〉は…

	PHS／IP電話	ファックス
東日本地区→	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区→	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄・奄美地区→	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866（月～金 9:00～17:30）	

受付時間　●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～18:00　（年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.01）

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ株式会社

本　　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部	〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地